

エコカラットプラス

施工マニュアル



目 次

1. 適用範囲	P. 1
2. 適用下地	P. 1
3. 施工材料	P. 5
4. 工具	P. 6
5. 施工方法 (共通事項)	P. 8
5-1 工程フロー	P. 8
5-2 形状	P. 9
5-3 手順	P. 10
① 下地の検査	P. 10
② 割付け	P. 10
③ 加工	P. 11
④ 接着剤塗布	P. 17
⑤ 張付け	P. 18
⑥ シーリング・カラットコーク処理	P. 19
⑦ 清掃	P. 21
⑧ 検査	P. 21
⑨ 個別情報	P. 22
a. ラグジュアリーモザイクⅡ、カッセ、ヴィーレ、ペトラスク エア、パールマスクⅡ、キルト、ラフゾーン	
(1) 形状	P. 22
(2) 割付け・納まり	P. 23
b. ランド、グラナス ルドラ、グラナス ライン、ブルックリン ボーダーⅡ、カームウッド	
(1) 形状	P. 25
(2) 割付け・納まり	P. 27
c. グラナス ヴィスト	
(1) 形状	P. 29
(2) 割付け・納まり	P. 29
d. グラナス ハルト、ラフクォーツ	
(1) 形状	P. 31
(2) 割付け・納まり	P. 31
e. クロニカ	
(1) 形状	P. 33
(2) 割付け・納まり	P. 33
f. ストーンⅡ、レイヤーミックス	
(1) 形状	P. 35
(2) 割付け・納まり	P. 35
g. グラナス ラシャ、グラナス ヴァーグ、ヴァルスロック	
(1) 納まり	P. 37
6. 納まり例	P. 38
6-1 洋室	P. 38
6-2 和室	P. 39
6-3 公共トイレ、住宅トイレ	P. 40
6-4 公共洗面、手洗いの背面	P. 41
7. モールディングシステム	P. 42
7-1 商品仕様	P. 42
7-2 適用個所	P. 43
7-3 適用下地	P. 43
7-4 施工方法	P. 44
8. コンセントスペーサー・装飾見切り材	P. 47
8-1 商品仕様	P. 47
8-2 適用商品	P. 48

8-3	コンセントスペーサー施工手順	P. 49
8-4	装飾見切り施工手順	P. 51
9.	天井への施工	P. 52
9-1	適用範囲	P. 52
9-2	施工方法	P. 53
9-3	納まり例	P. 55
10.	リフォーム	P. 56
10-1	リフォームのフロー	P. 57
10-2	適用範囲	P. 58
10-3	工具	P. 59
10-4	施工方法	P. 60
11.	補修	P. 62
	(補足) 乾式下地について	P. 64
	エコカラットプラス工事チェックリスト	P. 67

本マニュアルご利用の前に

商品毎の推奨納まり例、商品の方向性などは、総合カタログの“商品の留意点”を参照してください。

2019年版の改定ポイント（2018年から改定した内容）

主な改訂点は下記のとおりとなります。

- エコカラット廃番に伴い、「エコカラット・エコカラットプラス」の表記を「エコカラットプラス」に改訂しています。
- 廃番品の記載の削除および新商品の記載を追加しています。
- 改訂品の品番変更をしています。

商品名	新品番	旧品番
ロータリーカッター	233B	36B
スターターキット	ECT-P7N	ECT-P7

安全のため必ずお守りください

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項を設定しています。

施工前によくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

(用語及び記号の説明)

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みいただき、記載事項をお守りください。）

警告

電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱い説明書に従い、安全に作業を行ってください。

注意

施工マニュアルの指示どおりに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、剥離や脱落してケガに至る場合があります。

接着剤使用時は十分換気をしてください。体質によっては気分が悪くなる場合があります。

接着剤使用時は手袋等の保護具を着用してください。体質によってはかぶれる場合があります。

1. 適用範囲

形状・性能によって、適用範囲が異なりますので、下表にてご確認ください。303角を超える大きさのエコカラットプラスを3m以上の高さに施工する場合は、弊社営業にお問い合わせください。

	水がかりのない箇所		水がかりのある箇所	
	内壁 (居間、トイレ、洗面所、台所、玄関壁、廊下壁)	天井	公共トイレ、洗面・手洗の背面	屋外、浴室、床、レンジ回り(キッチンバック)、清掃により頻繁に水汚れが心配される業務用の厨房等
303角	○	○※1	○※2	×
上記以外	○	×	○※2	×

※1 天井に張れるエコカラットプラスの厚さは6.5mm以下です。

※2 A:洗面・手洗の背面やB:公共のトイレの壁にも使用できます。

但し、以下の条件がありますので必ずご確認ください。

A:洗面カウンターに立ち上がり部がなく、壁面と接する部分に常に水がたまる場合は使用できません。⇒P.41 参照

B:モップなどの清掃具が直接あたらないように、床面との取り合いに幅木を入れてください。⇒P.40 参照

2. 適用下地

	下地材	適否	条件、特徴
せ っ こ う ボ ー ド	せっこうボード(GB-R) 強化せっこうボード(GB-F)	◎	厚さ9.5mm以上、プラスターボードとも言う 厚さ9.5mm以上、防火性が高い
	シージングせっこうボード (GB-S)	◎	厚さ9.5mm以上 水まわり下地では不可、多湿な場所は可
	化粧せっこうボード(GB-D) せっこうラスボード(GB-L) 吸音孔あきせっこうボード 化粧せっこう吸音ボード 特殊せっこう吸音ボード	×	仕上げ処理不要、表面材との接着性不明 プラスター塗り壁用 天井仕上げ用、孔あき " "
	合板 普通合板 構造用合板	○	厚さ9mm以上 I類 JAS基準F☆☆☆☆ 厚さ9mm以上 特類、I類 JAS基準F☆☆☆☆

合板	<p>①ホルムアルデヒド放散量 <u>JAS 基準 F☆☆☆☆</u>の合板を使用してください。</p> <p>②ニオイを嗅いでみて<u>異臭がしないこと</u>を確認してください。</p> <p>③反り防止の為ビス留め間隔は 150mm 以下とし、胴縁間隔は 303mm 程度としてください。</p> <p>④<u>軽量鉄骨下地の場合、スタッド間隔は 303mm 程度とし、下地の縦横ジョイント部にジョイントテープ (FATAPE-100) を張り付けてください。</u></p>		
繊維強化セメント板	けい酸カルシウム板	○	比重 1.0、厚さ 6 mm以上
	スレートボード (フレキシブル板)	×	割れることがあります
	木毛・木片セメント板 ファイバーボード パーティクルボード	×	水に対して敏感、反りが大きい " "
	<p>[留意点] 軽量鉄骨下地の場合、スタッド間隔は 303mm 程度とし、下地の縦横ジョイント部にジョイントテープ (FATAPE-100) を張り付けてください。</p>		
セメント系	コンクリート+モルタル下地 ブロック+モルタル下地	○	303 角、303×606 角、異形状セットについては、0.5~1mm の隙間をあけてください。
	押出成形セメント板	○	パネル内に割り付けてください。
	ALC パネル	○	

※いずれも、面精度は±1.0 mm/2m 以内としてください。

※コンクリート+モルタル下地、ブロック+モルタル下地の場合は、下地にひび割れが生じるとエコカラットプラスにも割れが生じることがありますのでひび割れのない下地を作製してください。

※独立柱に直接、またはボードを取り付けてエコカラットプラスを施工することは避けてください。動きにより出隅部にひび割れが入ることがあります。

※建築工事標準仕様書・同解説 JASS 26 内装工事/日本建築学会に準じた下地仕様としてください。

※乾式下地の仕様については、巻末 (P. 64) 「(補足) 乾式下地について」も合わせて参照してください。

壁紙の上から施工する場合

ビニル系（フッ素、EB等の撥水系表面処理品を除く）、布系の壁紙は、その上からエコカラットプラスを施工することができます。フッ素、EB等の撥水系表面処理された壁紙、紙系（ケナフ紙を含む）、オレフィン系（非塩ビ系）の壁紙は、その上から施工できませんので、壁紙を剥がしてから施工してください。ビニル系壁紙の撥水の有無は、霧吹き等を使って水を吹きかけて調べることができます。水を弾けば撥水系表面処理が施されています。オレフィン系壁紙も水を弾きますので、上記の方法で見分けることができます。判別がつかない場合は壁紙を剥がしてから施工してください。

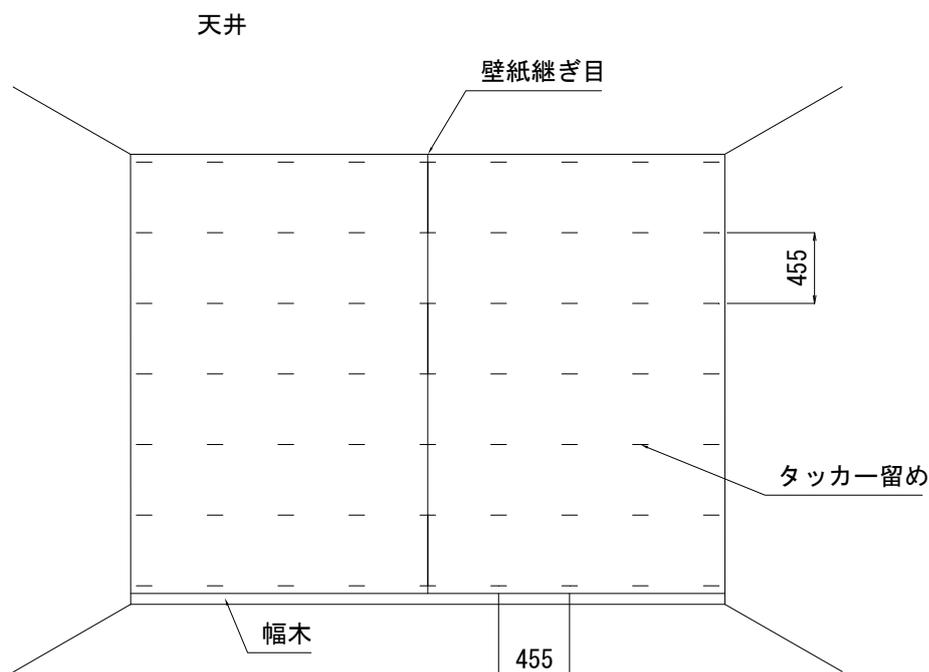
①せっこうボード下地の場合

壁紙の剥がれ防止のために、タッカーを所定の位置に打ちます。壁紙の継ぎ目部分は必ずタッカー留めしてください。タッカーは図のように約455mmピッチで留め付けます。

タッカーは幅10mm以上、打ち込み深さ8mm以上のステンレス製のものを使用してください。

（ハンマタッカー：TH-P、ステープル：1013J-S、1010J-S/マックス製）

（ハンマタッカー：TH-R、ステープル：1010J-S、1008J-S/マックス製）



②コンクリート、モルタル下地の場合

壁紙の剥がれ防止のために一部の壁紙を除去して、壁紙の上からエコカラットプラスを張り付けます。

図1に示すように、エコカラットプラスを天井まで張り上げる場合は、天井の下部と壁紙の継ぎ目周囲を100~200mm幅で除去します。腰高まで張る場合は、壁紙の継ぎ目周囲を除去します。壁紙は、裏打ち紙も除去します。

また、壁紙を剥がす幅については、図2に示すように、エコカラットプラスの割付けを考慮して、エコカラットプラスのジョイントと壁紙を剥がした端部が一致しないようにします。

これは、壁紙の剥がれとともに、エコカラットプラスも一緒に剥がれてくることを防止するためです。

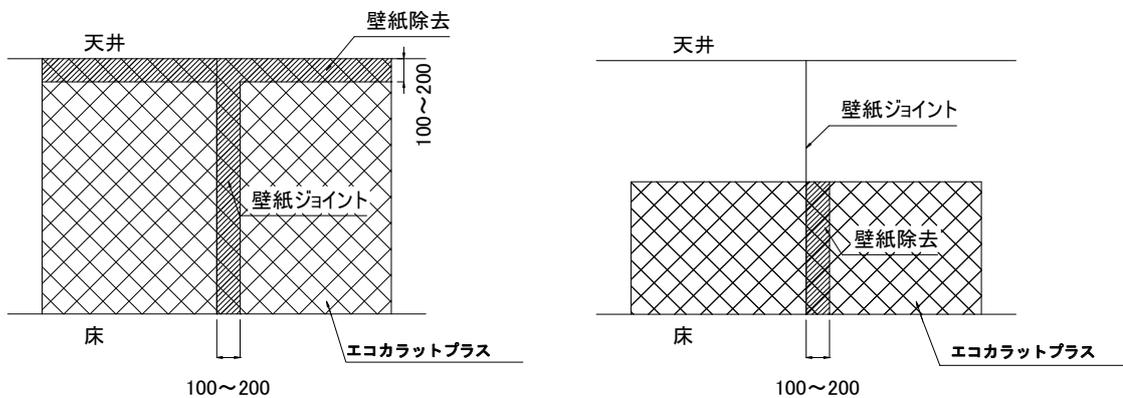


図1 壁紙を剥がす箇所

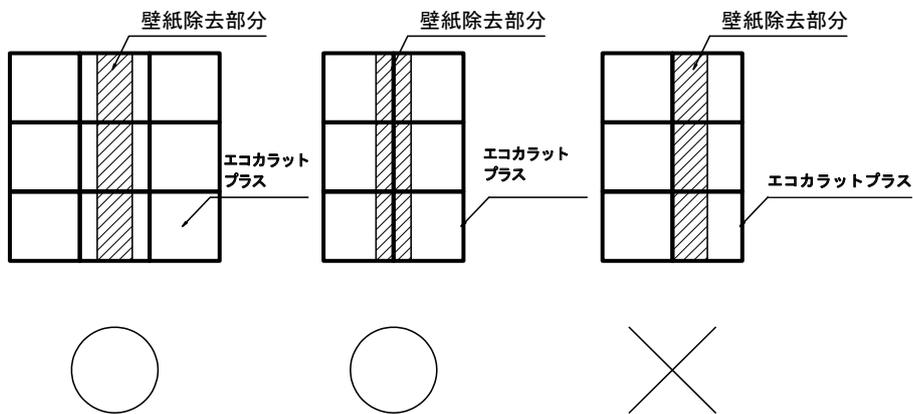


図2 エコカラットプラスの割付けと壁紙を剥がす箇所の関係

3. 施工材料

壁に施工する場合は、接着剤スーパーエコぬーる G をご使用ください。

材料	用途	仕様	商品名/メーカー	成分
接着剤	壁用	樹脂ペール缶 (20 kg入)	スーパーエコぬーる G F☆☆☆☆	アクリルエマ ルション
		樹脂缶 (5 kg入)		
		樹脂パック (1kg 入)		
天井用	カートリッジ式一液弾性接着剤 〈NET 333ml〉	イナメント RC-S F☆☆☆☆	変成シリコー ン系	
コーキング材 料	コーキング材 として	入隅部、出隅部の隙間埋め。1~2 mm 幅の隙間で使用。	カラットコーク	アクリルエマ ルション
	補修材として	カケ部の補修 2 mm幅までの使用。 広面積での使用は避けてくださ い。		
	シーリング材	開口回り、他部材との取り合いで 5 mm幅程度まででの使用。市販で 同色のもので使用してください。	(商品例) POS シール/セメダイ ン シーラント/信越化 学、等	変成シリコー ン系、シリコ ーン系

※スーパーエコぬーる G は、施工後 2 週間程度接着剤に含まれる水分が室内に放出されるため、調湿効果が発揮されるまで期間がかかることがあります。

※目安としてスーパーエコぬーる G は 3 mm のくし目施工で m² あたり 1~1.5 kg を必要とします。

※隙間が 2 mm を超える場合は市販のシーリング材をご使用ください。

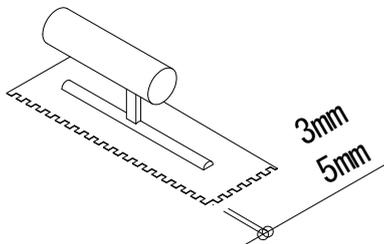
※カラットコークはコーキング材です。下地の動きが大きい箇所ではひび割れが入る場合があります。

⚠ 注意

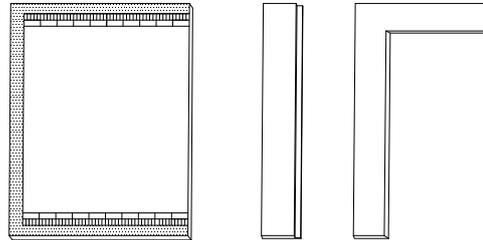
- ・ 接着剤が皮膚に触れると肌荒れの原因になる場合があります
- ・ 接着剤が目に入った場合は、水でよく洗い流し、異常のあるときは医師の診断を受けてください。

4. 工具

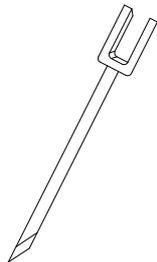
▲ くし目ゴテ (3 mm, 5 mm) …接着剤の塗付け
(LKT-3、LKT-5)



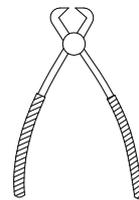
▲スターターキット…工具セット
(ECT-P7N)



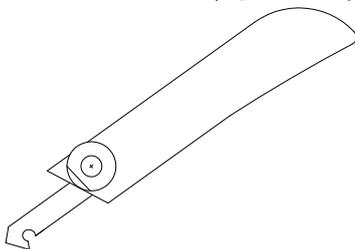
■ペンシルカッター…直線カット



■喰い切り (タイルニッパー) …L 字, コの字
カット



■プラ板用カッター…直線カット
(例：オルファ P カッター/オルファ製)



▲■ロータリーカッター…直線、曲線カット
(233B、ロータリーカッター/オルファ製)

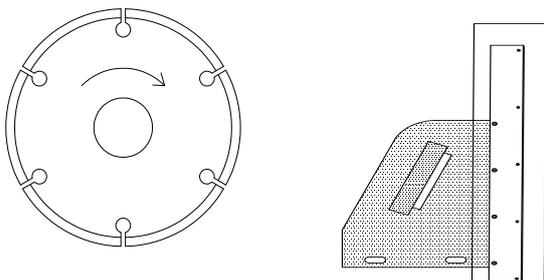


▲カラットホイール：DW-80ECO

※ 推奨：日立集じん丸のこ C4YA2 (N) (集じん
セット無し) RSC4YA (SN) (集じんセット付き)
(GDW-600 ガイド定規を使用することをお奨
めします)

※ 80φが取付可能で、19,500 回転/分以下の丸
のこまたはカッターにも装着は可能です。

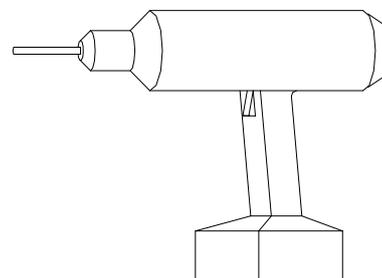
※ 推奨工具以外で施工すると耐久性及び切り
口のシャープさが落ちることがあります。



■電動ドリル，ホルソー，

ダイヤモンドコアドリル…孔あけ加工

■(推奨刃：磁器タイル用、コンクリート用)



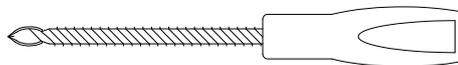
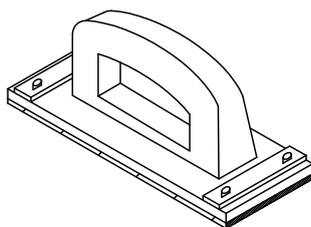
▲トリマビット ECTB-3D

(トリマビットはマキタ社専用です)

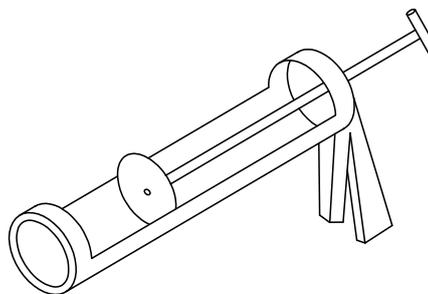
※ マキタ社・トリマ 3706BSK
($\phi 6\text{mm} \rightarrow \phi 3\text{mm}$ のアダプタ付き) または、3707F にアダプタ 6 (マキタ品番 322067-1) を装着してご使用ください。



■ファイルソー…くり拡げ、くり抜き

■ハンドサンダー…破断面の研磨及び仕上げ
(粗さの目安：#40～#80 程度)

■コーキングガン…シーリングの充填等



■ハンマタッカー…壁紙を剥がさずに改修する場合に使用

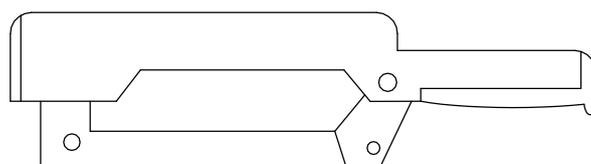
推奨品：(本体：TH-P/マックス製)

：(ステープル：1008J-S, 1010J-S/マックス製(ステンレス製))

※同上のステープル(400本入り)を用意しています。

8mm長：1008J-S (400)

10mm長：1010J-S (400)



■印：ホームセンター等で購入してください。

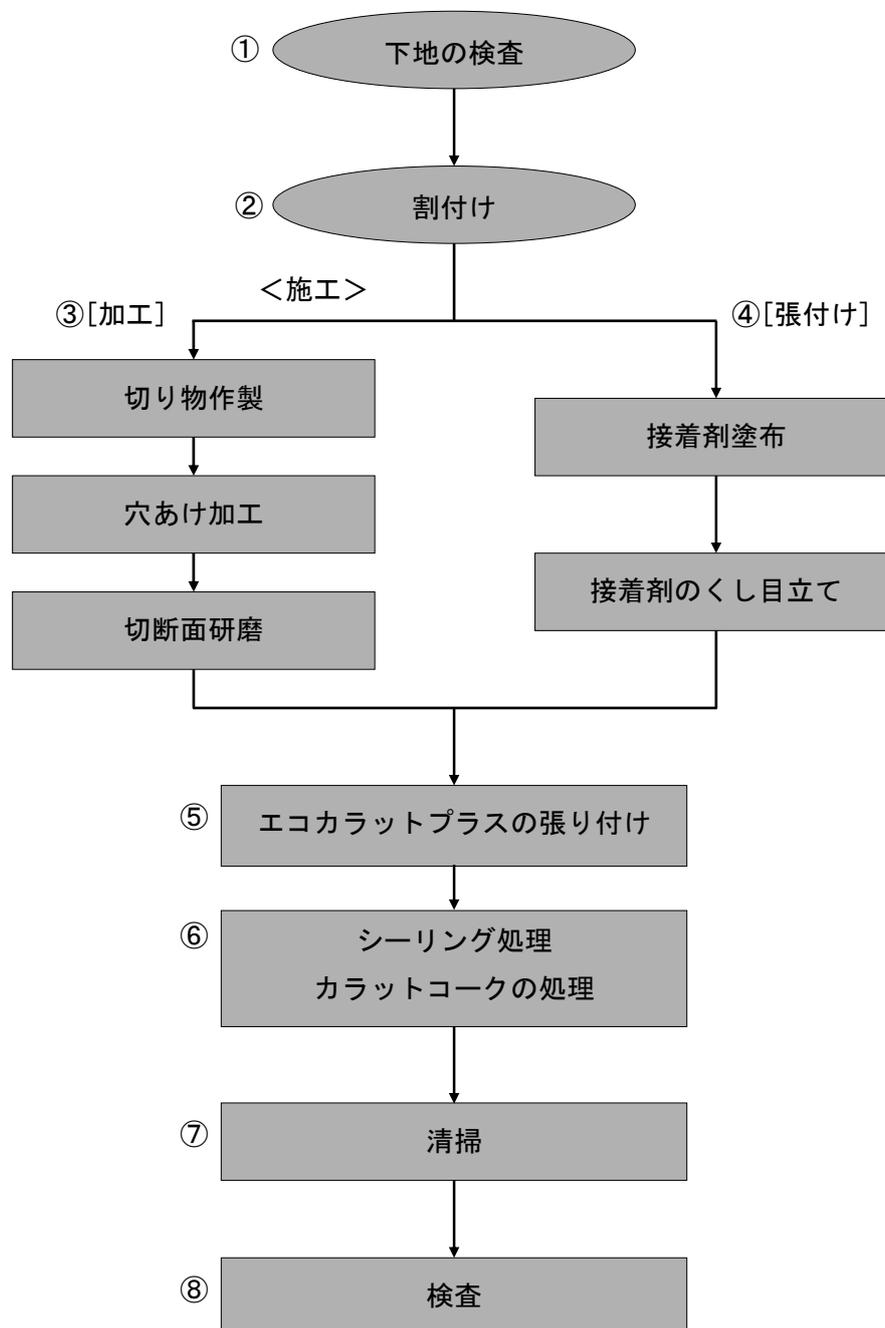
▲印：当社製品取扱専門店で購入してください。

⚠ 警告

丸のこ・カッター・トリマ・ドリル・ホルソーなどの電動工具やペンシルカッター・ロータリーカッターなどの刃物を取り扱う際には各商品の「使用上の注意」をよく読んでから作業を行ってください。また、電動工具での各材料を切断する際は保護メガネ・防塵マスクを着用すると同時に集塵を行ってください。

5. 施工方法（共通事項）

5-1 工程フロー



5-2 形状

形状一覧表

	品名	形状名	目地幅	個別情報
a	ラグジュアリーモザイクⅡ	○25 角ネット張り	なし (突き付け)	p. 22
	ヴィーレ、カッセ	○30 角ネット張り		
	キルト、パールマスクⅡ、 ペトラスクエア	○60 角ネット張り		
	ラフゾーン	○25×75 角ネット張り	1 mm程度	
b	ランド〈土もの調〉、 ランド〈石ハツリ面〉	○25×75 角ネット張り	1 mm程度	p. 25
	グラナス ルドラ、グラナス ライン、 カームウッド	○25×151 角ネット張り		
	ブルックリンボーダーⅡ	○25×202 角ネット張り		
c	グラナス ヴィスト	○異形状ボーダーネット張り	1 mm程度	p. 29
d	グラナス ハルト	○202×50 角平	1 mm程度	p. 31
	ラフクォーツ	○303×75 角平		
e	クロニカ	○151 角平	1 mm程度	p. 33
f	ストーンⅡ、レイヤーミックス	○異形状セット ○303 角平 ○303×151 角平 ○151 角平	なし (突き付け)	p. 35
g	グラナス ラシャ、グラナス ヴァーグ	○303×151 角平(レリーフ)	なし (突き付け)	p. 37
	ヴァルスロック	○303×151 角平	1 mm程度	
	アンティークマーブル、ビンテージオーク	○606×151 角平	1 mm程度	-
	ファブリコ、ストーングレース、 ネオトラバーチン	○606×303 角平	1 mm程度	-
	リブミックス、ニュートランス、 フェミーナ、ファインベース、 スプライン、シルクリーネ、たけひご	○303 角平	なし (突き付け)	-

※ 横張りとは縦張りではデザインの見え方が異なります。現物にて張る方向をご検討ください。

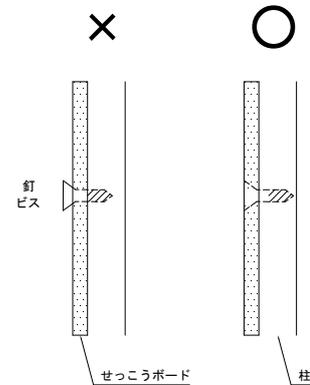
また上・下にも方向性があります。各製品の施工パターンを確認してください。施工パターンがないものは、裏面の色番号を下にそろえて張ると仕上がりがきれいになります。(モザイク形状には色番号の記載はありません)

片面小端仕上げは、裏面にある矢印にて方向を確認してください。

5-3 手順

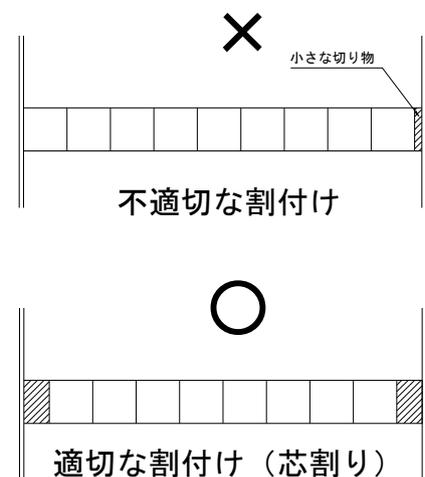
① 下地の検査

- 留付け金物（くぎ、ねじ）の留付け位置・間隔・留付け状態の検査をしてください。
- 特にくぎまたはねじ頭のレベルが下地表面より突き出ないようにしてください。
- ジョイント部の段差、目違いのないようにしてください。
- 異素材の下地をまたぐ場合は面合わせを行うと同時に板間に動き防止用のジョイントテープ（FATAPE-100）を貼り付けてください。この部分の施工は、弾性接着剤（付メト RC-S）を使用し、くし目ゴテでのぼして施工してください。
- 表面のほこり、汚れを除去し乾燥面としてください。



② 割付け

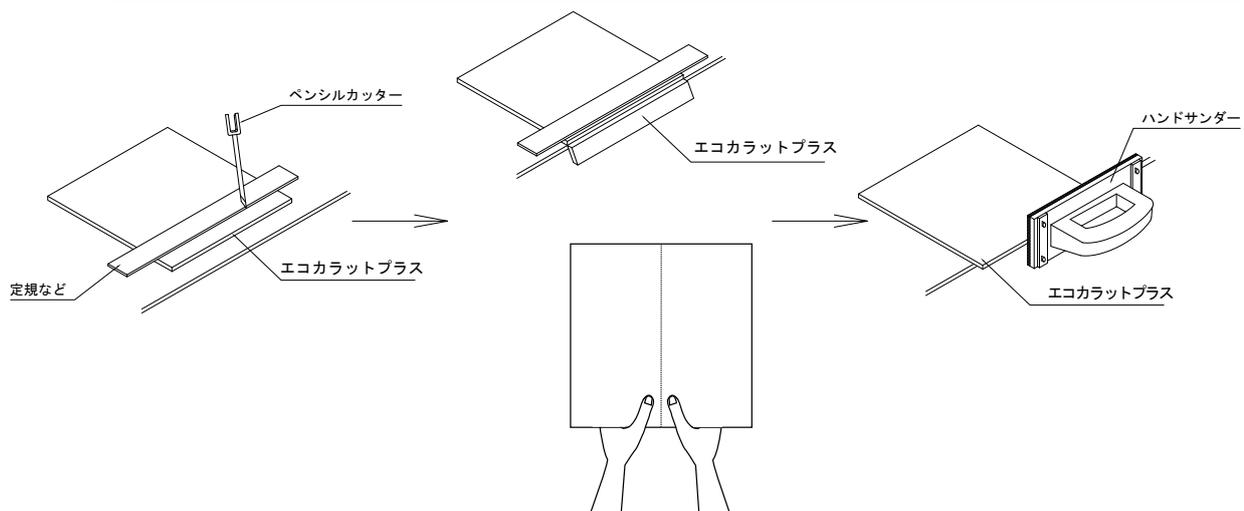
- まず、水平、垂直の基準墨を打ってください。
- 割り付ける際、端部に小さな切り物が入らないようにします。
- 小さな切り物が入りそうな場合、平と切り物を加えた数字を2で割った寸法の切り物を両端に入れた芯割りにします。
- 入隅部、他部材との取合いは1~5 mmの隙間をあけてください。



③加工

a. 直線カット

- 直線カットはペンシルカッターまたはプラ板用カッターやロータリーカッターで傷を付け、割ります。この時、直角な架台など（スターターキット ECT-P7N）の上で、面全体で押さえて押し割るか、両手で持ち折ることも割ることができます。
- 切断面はハンドサンダーなどで研磨します。
（最終仕上げは#80 程度をお奨めします）
- 裏からカットする方がビリ欠けは少なくなります。なお、たけひご、スプライン等の、表面が筋面となっているエコカラットプラスは切断しにくいので裏からカットしてください。



【丸のこ、カッターを用いる場合】

- 丸のこ、カッター使用の際は事前^に取扱説明書をお読みください。
- 80φが取り付け可能で、19,500回転/以下の丸のこまたは、カッターを使用してください。
推奨：日立集じん丸のこ C4YA2(N)（集じんセット無し）RSC4YA(SN)（集じんセット付き）
- ホイールは推奨品である カラットホイール(DW-80ECO)を使用してください。他のホイールで切断した場合、刃が焼き付いて著しく損傷する恐れがあります。
- 切断する時は、エコカラットプラスがぶれないようにしっかりと押さえてください。
- 切断する際は推奨ホイールでゆっくりと行ってください。
- 切り始めに少し火花がでることがありますが、ホイールがエコカラットプラスになじむと切れます。
- 切断面はハンドサンダーなどで研磨します。
- 切断する場合は集塵を必ず行ってください。
- 切断面はハンドサンダー等で研磨して仕上げます。
- エコカラットプラスの表面に切断粉が付着した場合は、ハケではらうなどして除去します。

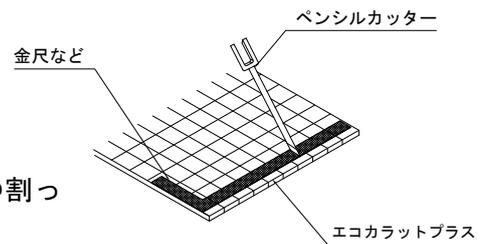
⚠ 警告

電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱説明書に従い、安全に作業を行ってください。

b. モザイク形状の直線カット

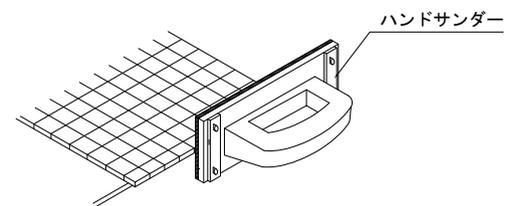
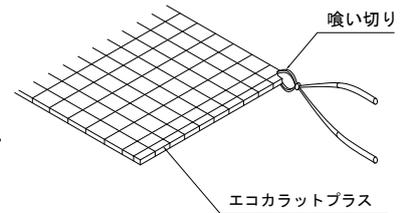
【電動工具を用いる場合】

- 丸のこまたはカッター使用の際は事前に対処説明書をお読みください。
- 80φが取り付け可能な丸のこまたはカッターを使用してください。
推奨：日立集じん丸のこ C4YA2(N)（集じんセット無し）RSC4YA(SN)（集じんセット付き）
- ホイール刃は、推奨品 カラットホイールを使用してください。他のホイールで切断した場合、刃が焼き付いて著しく損傷する恐れがあります。
- 切断する時は、安定した台上でエコカラットプラスがぶれないようにしっかりと押さえてください。発泡プラスチック保温材などを敷くことで、動きにくくなります。
- 必ず集塵するようにしてください。
- 切断面はハンドサンダー等で研磨して仕上げます。



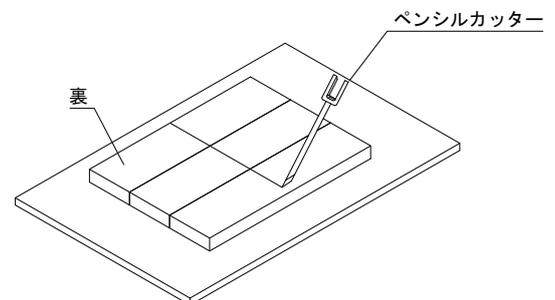
【電動工具を用いない場合】

- ペンシルカッターで傷を付け、喰い切りで少しずつ割ってください。
- また、ロータリーカッターで繰り返し深く切り込むとモザイク(30mm角)が個々に割れていきます。
- 裏側のネットをカッターナイフで切り取ります。
- 切断面は必要に応じて喰い切りで整え、ハンドサンダーなどで研磨します。



【グラナス ハルトの場合】

- ペンシルカッターで裏から切断してください。
- 10 mm以下の切り物を加工する場合は、ペンシルカッターでけがき、喰い切りで加工してください。

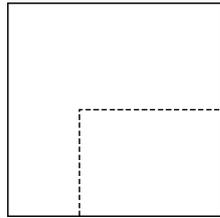


c. L字、コの字カット

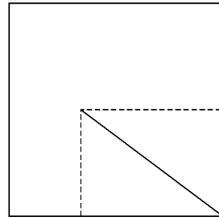
【トリマを用いる場合】

- トリマを使用するときれいな切断面が得られます。<必ず専用刃をご使用ください。>
- エコカットプラス裏面にけがき線を入れて切断します。（特にファインベース、たけひご等）
- L字カットの場合は、次のような切断方法があります。

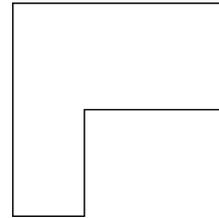
切断したい線に沿ってペンシルカッターで傷をつけた後、コーナーから斜めに切断し、押し割ります。



①ペンシルカッターでキズをつけます。



②コーナーからトリマで斜めに切断します。

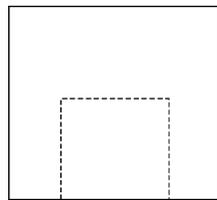


③キズをつけた線に沿って押し割ります。

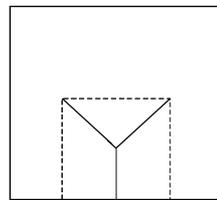
※L字に切欠く部分の角部に先にトリマで穴あけすると、切断時のクラックが入りにくくなります。

- コの字カットの場合は、次のような切断方法があります。

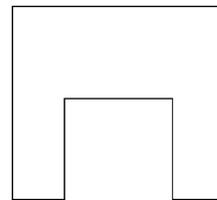
切断したい線に沿ってペンシルカッターで傷をつけた後、図のように切断し、押し割ります。



①ペンシルカッター等でキズをつけます。



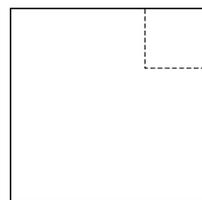
②Yの字にトリマーで切断します。



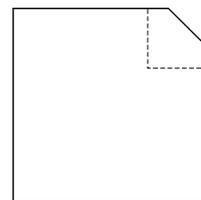
③キズをつけた線に沿って押し割ります。

【喰い切りを用いる場合】

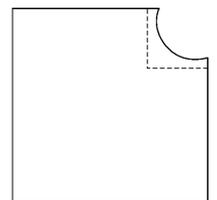
- あらかじめペンシルカッターまたはプラ板用カッターで傷を付け、喰い切りで切断します。
- コーナー部はハンドサンダーなどで仕上げてください。



①ペンシルカッター等でキズをつけます。



②コーナーから少しずつ切っていきます。



③残り幅が小さくなったら線に沿って切ります。

d. 孔あけ加工

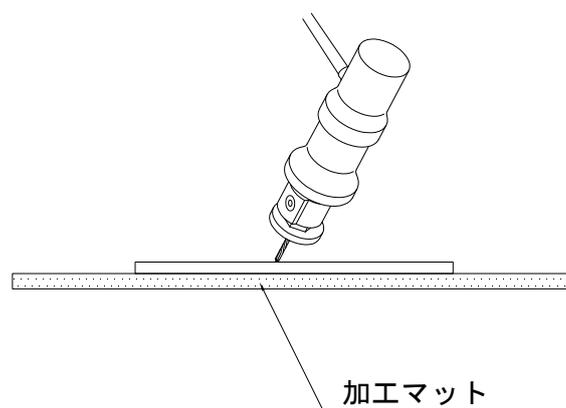
- エコカラットプラスに孔あけをするには、あらかじめ加工したエコカラットプラスを張り付ける方法とエコカラットプラスを張り付けて接着剤が硬化した後に加工する方法があります。

(1) エコカラットプラスを張り付ける前に加工する場合

台として、加工マット（スターターキットに入っています）または人工芝などを敷くことで、エコカラットプラスが滑りにくく、また集塵効果もあります。

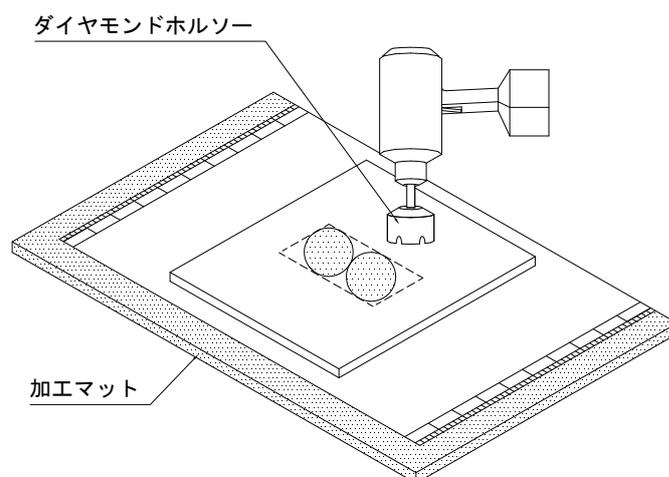
【トリマを用いる場合】

- エコカラットプラスに必要な穴をけがきます。
- けがき線のやや内側にビットを回転させながら斜めに刃を入れ込んで、けがき線に沿って切断します。※必ず専用刃のトリマビットをご使用ください。



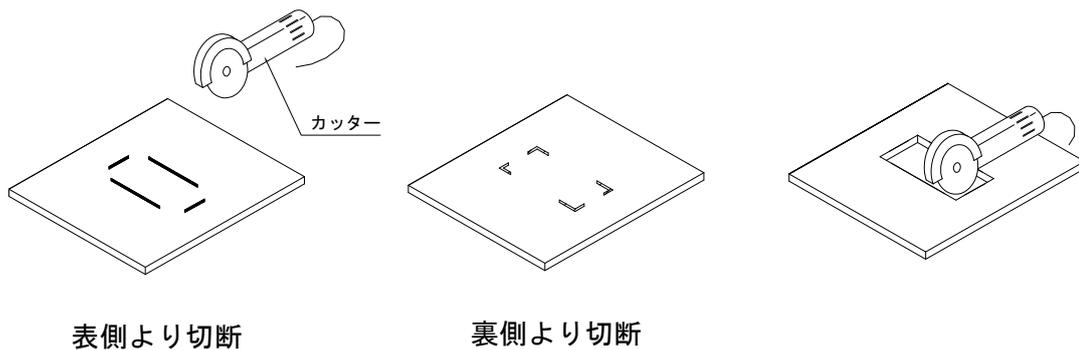
【ホルソーを用いる場合】

- ホルソーの刃は、市販のダイヤモンドホルソーを使用してください。
- 切断する時は、エコカラットプラスがぶれないようにしっかりと押さえてください。
- 右図のように「8の字」状に加工し、細かな部分は喰い切り（タイルニッパー）で調整してください。



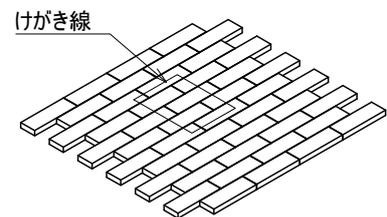
【カッターを用いる場合】

- カッターのホイールは推奨品のカラットホイールを使用して、切断する際はゆっくりと行ってください。
- 切断する時は、エコカラットプラスがぶれないようにしっかりと押さえてください。
- 孔位置がエコカラットプラス2枚にまたがる場合は切断したものを組み合わせてください。
- まず、表側の中央部分をカットした後、裏側にしてコーナー部分をカットします。
- 切断する場合は必ず集塵を行ってください。

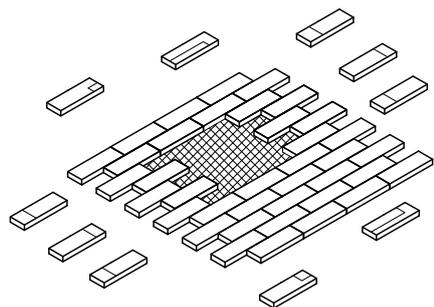


【モザイク形状の場合】

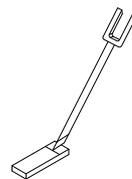
- シート状態で、エコカラットプラスの表面から穴の形状にけがき線を入れます。



- 加工するピースをシートから取り外します。

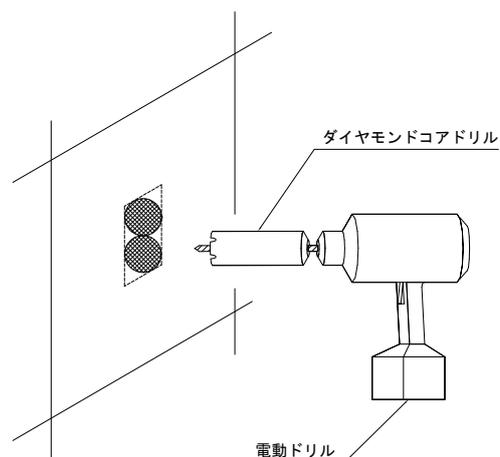


- 取り外したピースをけがき線に沿って切断します。



(2) エコカラットプラスを張り付けた後に加工する場合

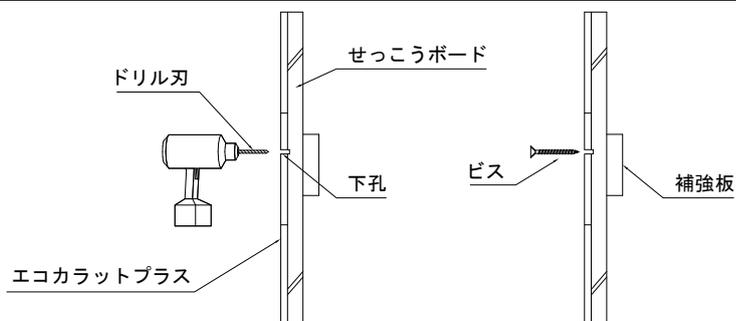
- あらかじめ孔の位置をけがいて、エコカラットプラスを張り付けます。
- 接着剤が硬化した後、電気工事業者がエアコンダクトの孔あけに用いるダイヤモンドコアドリルで加工します。接着剤が柔らかいうちに行うと、加工がうまくできないことがあります。
- エコカラットプラスの裏側にあるコンセントボックスやケーブルなどを傷付けないように十分注意して行ってください。



【壁面に器具などを取り付ける際のご注意】

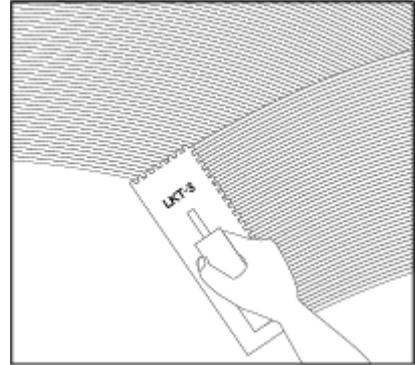
⚠ 注意

- ・ ビスや釘を打つ場合は直接打ち込まず、必ず事前に下孔をあけてから留めてください。(参考例)
荷重がかかる場合は、エコカラットプラス裏面に万遍なく接着剤を付けビス穴は大きめに開け、荷重がエコカラットプラスに直接かからないように注意してください。
- ・ また、エコカラットプラスの破損防止のためビス等は強く締めすぎないようにしてください。
- ・ テレビ、エアコン、キャビネット、棚板はエコカラットプラスの上から取り付けることができません。エコカラットプラスは、これらの器具の周囲に施工してください。



④接着剤塗布

- 接着剤はくし目ごてを用いて、下地全面に塗り付けます。
- 塗布した接着剤に、3 mm又は5 mmのくし目ごてでくし目を立てます。ただし、下地の不陸が大きい場合は5 mmのくし目ごてを使用してください。
- くし目ごてを壁面に対し約 60 度の角度に傾けて、塗り伸ばしてください。
- 目地部分から接着剤が見える製品を施工する場合、くし目により下地が透けないように接着剤を塗布してください。
- 1 回あたりの塗布面積は 1.5 m²以下にしてください。張付け作業時間は、接着剤塗り付け後 夏季 15 分、冬季 30 分程度を目安としてください。
- 目地をあける仕様の製品の場合、エコラットプラスの長辺方向に平行にくし目を立てるとくし目が目立ちにくくなります。

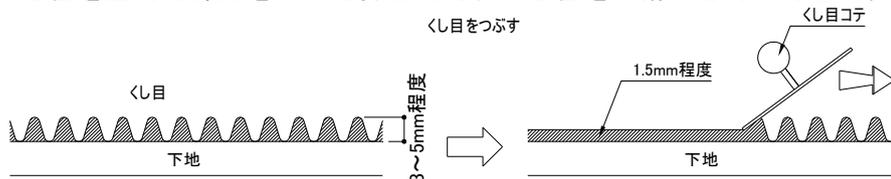


推奨くし目一覧表

エコラットプラス	推奨くし目
ストーングレース、アンティークマーブル、ビンテージオーク、ファブリコ、ネオトラバーチン	5 mmくし目
クロニカ	5 mmくし目平押え
上記以外	3 mmくし目

※5 mmくし目平押え

くし目を立てた部分をコテで押さえて、くし目を平滑にしてください。

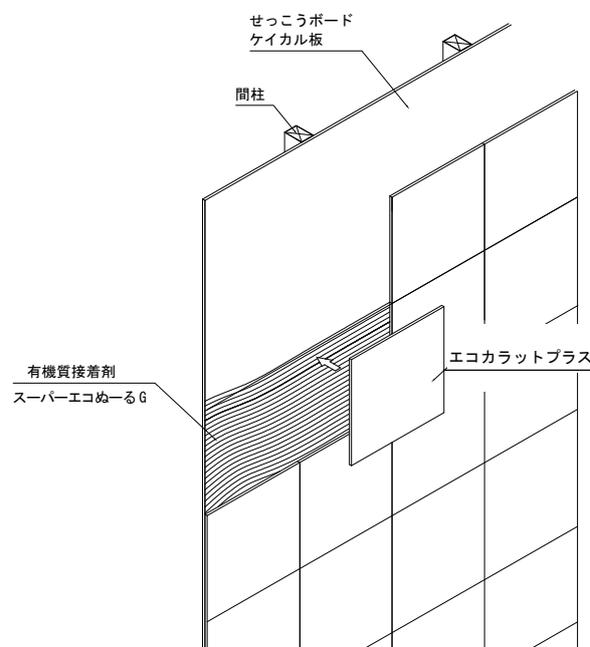


⚠ 注意

- ・接着剤が皮膚に触れると肌荒れの原因になる場合があります。
- ・接着剤が目に入った場合は、水でよく洗い流し、異常のあるときは医師の診断を受けてください。

⑤張付け

- エコカラットプラスは、意匠上目地をあけずに突き付けて施工する製品と、目地をあけて施工する製品があります。詳細はP.9形状一覧で確認してください。
- 突き付けて施工する製品の目地通りの調整をする場合は、糸目地程度としてください。
- 303角、303×606角、異形状セットについては、コンクリート、モルタル下地の場合は0.5～1mmの隙間をあけてください。
- 目地詰めはできませんのでご注意ください。
- エコカラットプラスを張り付ける際、目地通りに注意してください。
- 割付けに基づいてエコカラットプラスを手でもみ込むようにして押えていきます。
- モザイク形状の場合、厚みにバラツキがありますので、張り付ける際には1枚1枚十分に押え付けて接着剤を付着させてください。接着剤の付着が少ない場合、一片ずつが剥がれる可能性がありますので施工しなおしてください。
- エコカラットプラスを張り付ける際、たたき板等でたたかないでください。損傷する可能性があります。
- 入隅部は、1mm程度の隙間をあけ、空目地とするか、2～5mmの隙間をあけて、カラットコークまたはシーリング処理としてください。他部材との取り合い部は、1mm程度の隙間をあけ、空目地にするか、2～5mmの隙間をあけて、シーリング処理としてください。
- 張付け作業の早い時期にエコカラットプラスを1、2枚剥がして、エコカラットプラス裏面に満遍なく6割以上接着剤が付着していることを確認してください。接着剤の付着が6割未満または、満遍なく全体に付着していない場合は、接着剤が不足しているか、エコカラットプラスのもみ込み不足ですので施工し直してください。
- エコカラットプラスの目地部からはみ出した接着剤は、張付け後直ちに皮すき、へら等を用いて取り除いてください。
- 接着剤がエコカラットプラスの表面に付着した場合は、硬化する前に湿ったウエスなどでふき取ってください。ふき残した部分が硬化してしまった場合は、家庭用洗剤を吹きかけ、ティッシュやウエスで擦り取ってください。
- 全体を張り終えたら仕上りの検査を行い、汚れなどがある場合は取り除いてください。手垢程度であれば、プラスチック消しゴムで落とせます。



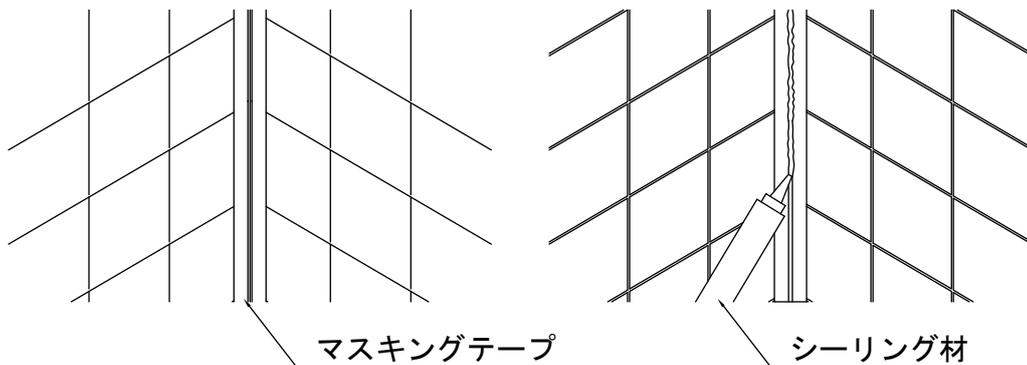
⑥シーリング・カラットコーク処理

- 入隅部、他部材との取合いは、1 mm程度の空目地にするか、カラットコークまたはシーリング処理をしてください。

材 料	用 途	商品名 / メーカー	成 分
カラットコーク	入隅部、出隅部の隙間埋め 1~2 mm幅程度の隙間で使用。補修材としても使用できます。	カラットコーク	アクリルエマルション
シーリング材	入隅部、開口回り、他部材との取合い。2~5 mm幅程度の場合に使用します。	例) POS シール/セメダイン(株) シーラント/信越化学工業(株)等	変成シリコーン系 シリコーン系

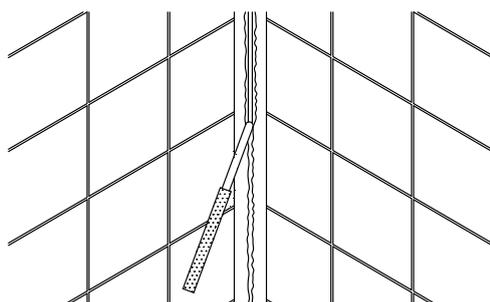
- カラットコークはチューブ式で2 mmを超えるような隙間ではコーキング材が切れるため使用できません。又下地の動きが大きい場合、ひびが入る恐れがあります。

- シーリング材は以下の手順で作業を行ってください。（プライマーは使用しないでください。）

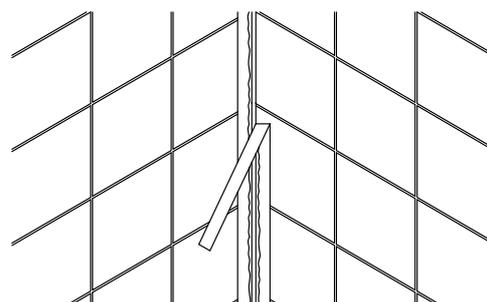


- ① マスキングテープを表面に沿って張り、シーリング材が他に付着しないようにしてください。

- ② ノズル部分を隙間の幅に合わせて切り取り、シーリング材を詰めてください。



- ③ へらで押さえて密着させて、表面を平滑に仕上げてください。



- ④ 押さえが終わり次第、マスキングテープを剥がして硬化するまで養生してください。

- 粘着力の強い養生テープ等は、塗薬の剥がれの原因となりますので使用しないでください。

- 躯体用シーリングテープは、テープを除去後エコカラットプラス表面に残ったのりが時間経過とともにシミになりますので使用しないでください。推奨（日東電工(株)：マスキングテープ（塗装用）No.720A、スリーエムジャパン(株)：サイディングボード用 S80）

⑦清掃

- 現場の清掃をしてください。

⑧検査

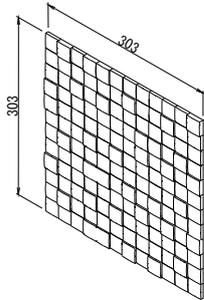
- 全体的な仕上がりに不具合がないか確認してください。特に接着剤のはみ出しはないか確認してください。
- エコカラットプラス表面に汚れがある場合は、手垢程度であれば消しゴムで落とせます。接着剤がエコカラットプラス表面に付着した場合は、硬化する前に湿ったウエスなどでふき取ってください。ふき残した部分が硬化してしまった場合は家庭用洗剤を吹きかけ、ティッシュやウエスで擦り取ってください。

⑨個別情報

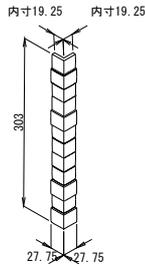
a. ラグジュアリーモザイクⅡ、カッセ、ヴィーレ、ペトラスクエア、パールマスクⅡ、キルト、ラフゾーン

(1) 形状

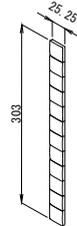
<ラグジュアリーモザイクⅡ>



25 角ネット張り

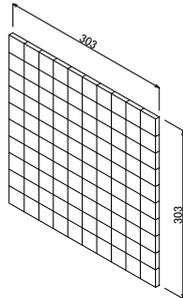


90° 曲ネット張り

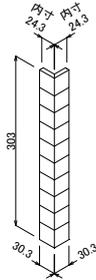


25 角（納まり役物）ネット張り

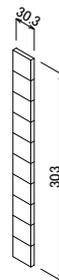
<カッセ>



30 角ネット張り

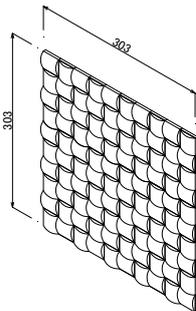


90° 曲ネット張り

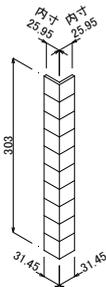


30 角（納まり役物）ネット張り

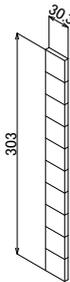
<ヴィーレ>



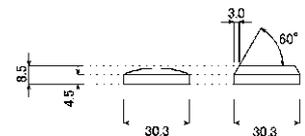
30 角ネット張り



90° 曲ネット張り

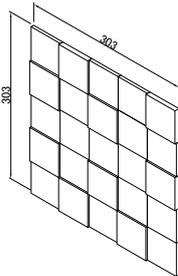


30 角（納まり役物）ネット張り



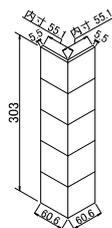
30 角断面図

<ペトラスクエア・パールマスクⅡ・キルト>

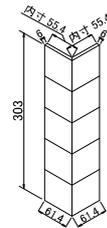


厚いピースが右上になるように施工するのが標準です

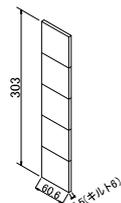
60 角ネット張り



90° 曲ネット張り



90° 曲ネット張り



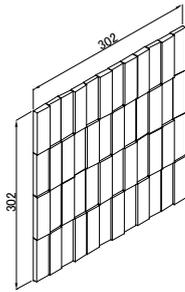
60 角（納まり役物）

<パールマスクⅡ・ペトラスクエア>

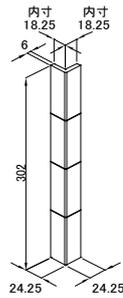
<キルト>

ネット張り

<ラフゾーン>



25×75 角ネット張り



90° 曲ネット張り



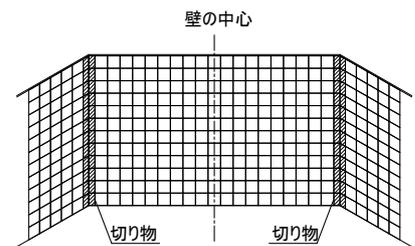
25×75 角（長辺）ネット張り

(2) 割付け・納まり

- 水平、垂直の基準線の墨出しを行ってください。
- 割り付ける際、できるだけ端部に小さな切り物が入らないようにします。
- 出隅役物（90° 曲ネット張り）を使用する場合、出隅部分から張り始めるように割り付けてください。出隅役物を切断することはできるだけ避けてください（ヴィーレ除く）。切断する場合は仕上がりに注意して丁寧に切断してください。
- 入隅部、他部材との取合いは、1mm程度の空目地にするか、カラットコークまたはシーリング処理をしてください。

【入隅－入隅間の割付け】

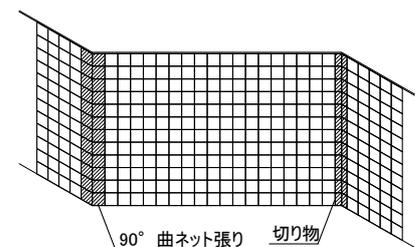
- 入隅－入隅間の割付けは、平物の 1/2 以下の切り物が入らないように割り付けてください。



(芯割りの例)

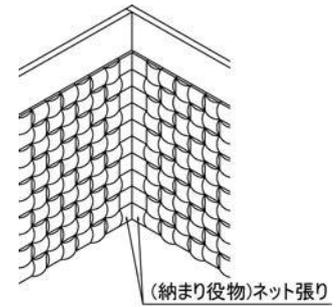
【出隅－入隅間の割付け】

- 出隅－入隅間の割付けは、出隅からの片追いとし、入隅は切断して納めます。

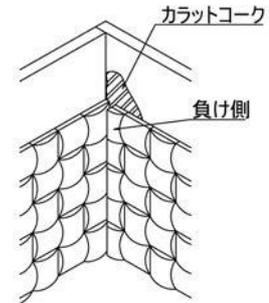


【入隅の納め方】

(納まり役物) ネット張りを使用することで、入隅をきれいに納めることができます。



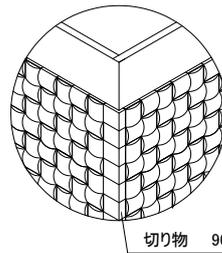
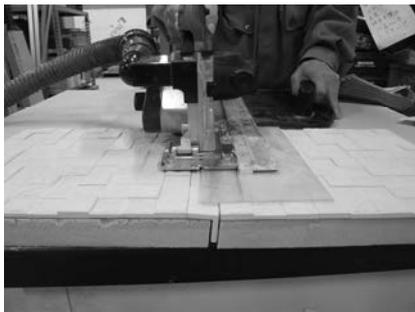
入隅を空目地にする場合、勝ち負け納まりの負け側に、あらかじめカラットコークを下地に塗布しておきますと、隙間の違和感がなくなります。



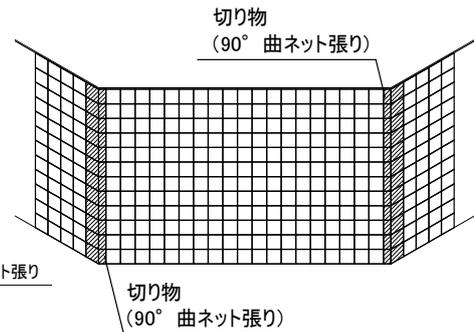
【出隅一出隅間の割付け】

■既存の下地に施工する場合

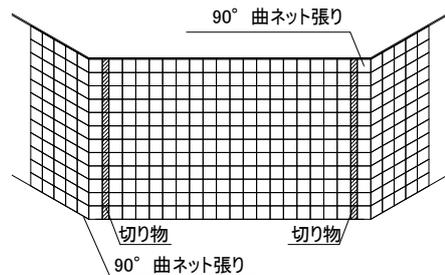
- 芯割りして、両端の90° 曲ネット張りを切断して納めます。
- 切断面は必要に応じて喰い切りで整え、ハンドサンダーなどで研磨して仕上げてください。
- 曲がりを切断するときは、施工台を準備すると、切断しやすくなります。



出隅の納まり

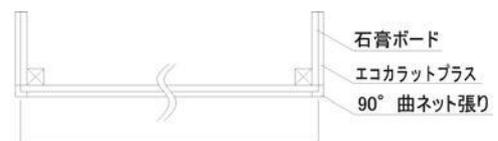
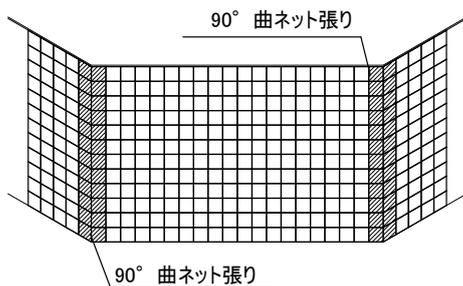


- 曲がりの横の平物を切断して納めることもできますが、カッセ以外の場合は、必ず(納まり役物) ネット張りを使用してください。



■モジュールに合った仕上げをする場合

- 突き付け商品の下地は、(303×水平方向に使用するシート数)mm + (90° 曲の内寸法×2 個 - 接着剤の厚さ1mm)mm にしてください。
- ラフゾンの下地は、(303×水平方向に使用するシート数)mm + (90° 曲の内寸法×2 個)mm にしてください。



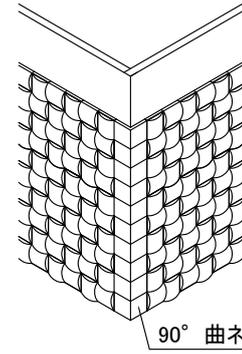
ラグジュアリーモザイクⅡ	: 303×シート数 + 37.5mm
カッセ	: 303×シート数 + 47.6mm
ヴィーレ	: 303×シート数 + 50.9mm
ベトラスクエア、パールマスクⅡ	: 303×シート数 + 109.2mm
キルト	: 303×シート数 + 109.8mm
ラフゾン	: 303×シート数 + 36.5mm
ランド<土もの調>	: 303×シート数 + 91.65mm
ランド<石ハツ面>	: 303×シート数 + 91.5mm

【出隅役物で納める場合】

- 90° 曲がりを使用する場合は、90° 曲がりを最初に張り付けてください。後から張り付けようとすると 90° 曲がりがきれいに納まらなくなります。



カッセの場合の納まり例



90° 曲ネット張り

ヴィーレの場合の納まり例

【平物で納める場合】

- カラットコークを隙間に埋めます。隙間は1~2mm程度となるようにエコカラットプラスを施工してください。
- ランドの場合はコーナー部両側に25×75角（短辺）ネット張りを使用してください。隙間は1~2mm程度となるようにし、カラットコークで隙間を埋めます。

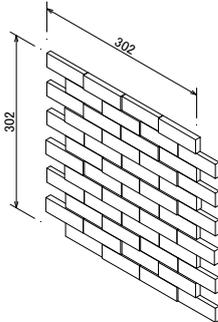


カッセの場合の納まり例

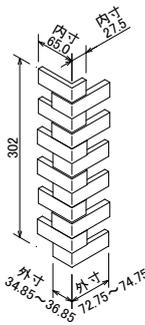
b. ランド、グラナス ルドラ、グラナス ライン、ブルックリンボーダーⅡ、カームウッド

(1) 形状

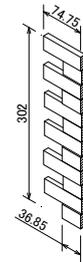
<ランド <石ハツリ面>>



25×75 角ネット張り

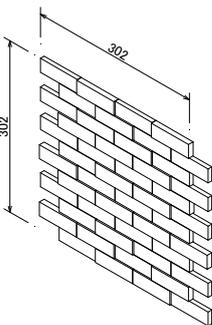


90° 曲ネット張り

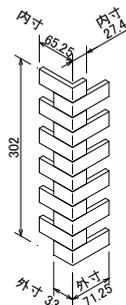


25×75 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

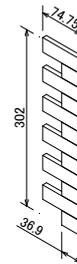
<ランド <土もの調>>



25×75 角ネット張り

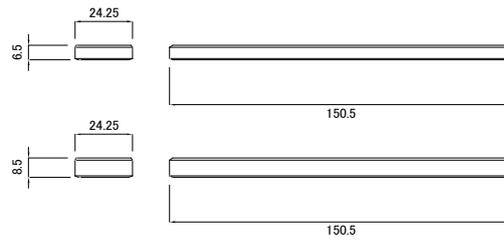
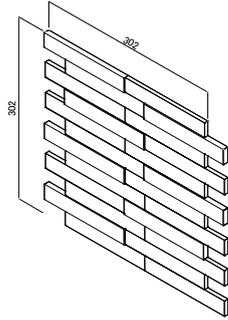


90° 曲ネット張り

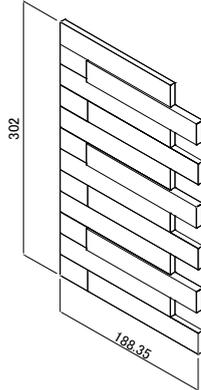


25×75 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

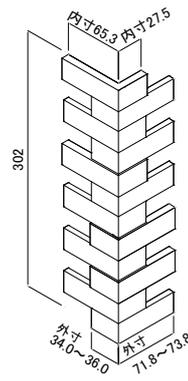
<グラナス ルドラ>



25×151 角ネット張り



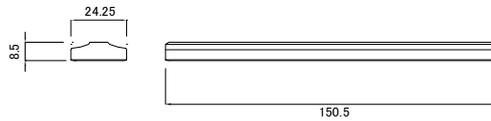
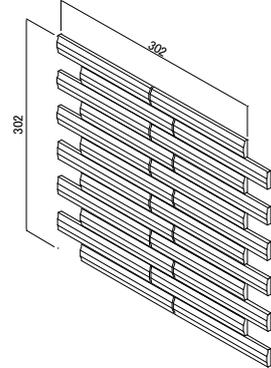
25×151 角断面図



25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

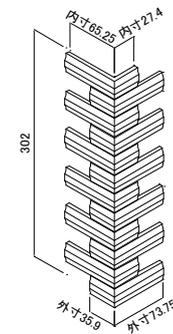
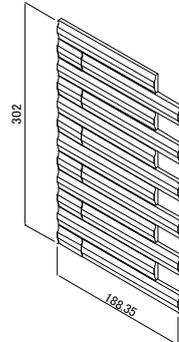
90° 曲ネット張り

<グラナス ライン>



25×151 角断面図

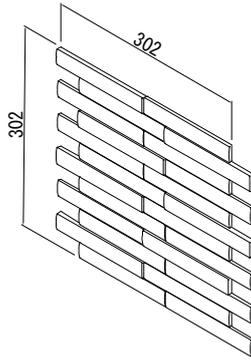
25×151 角ネット張り



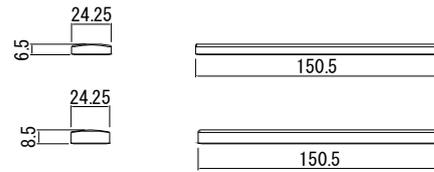
25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

90° 曲ネット張り

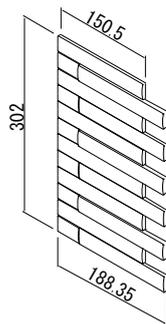
<カームウッド>



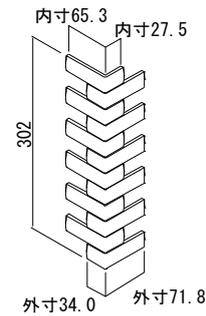
25×151 角ネット張り



25×151 角断面図

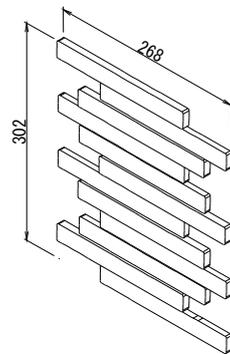


25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

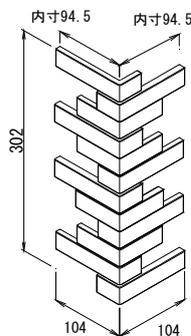


90° 曲ネット張り

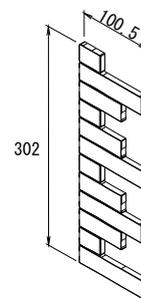
<ブルックリンボーダーⅡ>



25×202 角ネット張り



90° 曲ネット張り



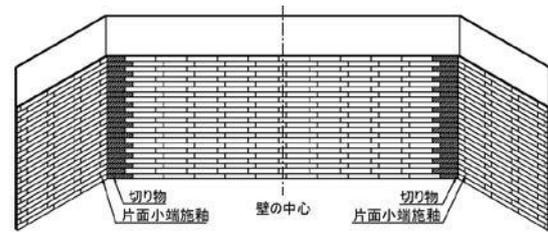
25×101 角片面小端施釉（短辺）ネット張り

(2) 割付け・納まり

- 水平、垂直の基準線の墨出しを行ってください。
- 目地幅は縦横とも 1.0mm 程度あける仕様になっております。割り付ける際、1.0mm 程度目地をとって割り付けてください。
- 割り付ける際、できるだけ端部に小さな切り物が入らないようにします。さらに、できるだけ切断加工がないような割付けとしていただくと作業性が向上します。
- 入隅部は 1 mm 程度の隙間を空け、空目地にするか、カラットコーク（2 mm 程度まで）またはシーリング処理（5 mm 程度まで）します。他部材との取り合いは 1 mm 程度の空目地とするかシーリング処理（5 mm 程度まで）します。

【入隅－入隅間の割付け】

- 入隅－入隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。
- 入隅には、25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張りを使用してください。
- 切物は、25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張りの横の平物としてください。片面小端施釉は勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



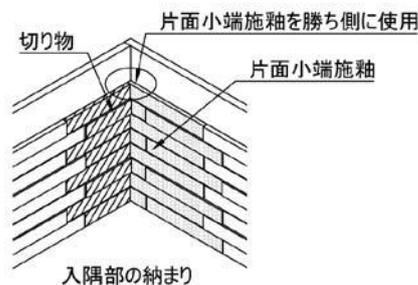
入隅－入隅間の割付け



出隅－入隅間の割付け

【出隅－入隅間の割付け】

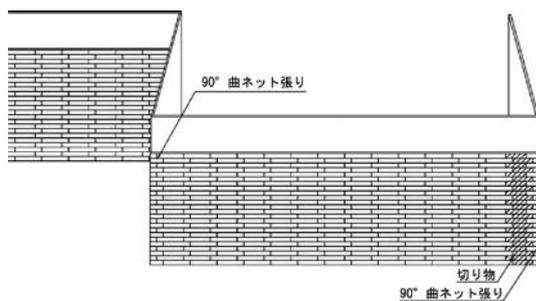
- 出隅－入隅間の割付けは、90° 曲ネット張りを取り付け、出隅より片追いとしてください。
- 入隅には、25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張りを使用してください。
- 切物は、25×151 角片面小端施釉（短辺）ネット張りの横の平物としてください。片面小端施釉は勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



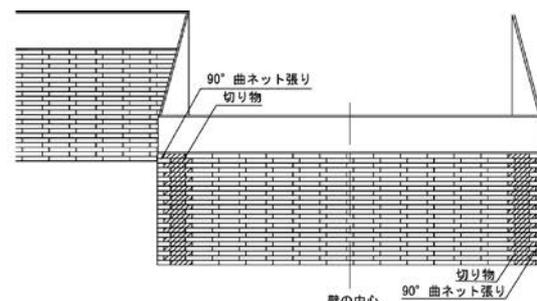
入隅部の納まり

【出隅－出隅間の割付け】

- 出隅－出隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。
- 芯割りまたは、片追いをして、出隅には 90° 曲がりネット張りを取り付け、出隅の横の平を切断して納めます。



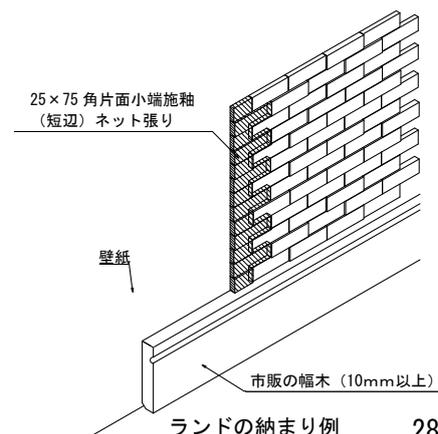
出隅－出隅間の割付け図（片割りの場合）



出隅－出隅間の割付け図（芯割りの場合）

【壁面途中で張り終わる場合】

- 壁面途中で張り終わる場合は端部に、片面小端施釉（短辺）ネット張りを使用してください。
- その際、幅木は合板などの増し打ちはできません。極力 10mm 厚以上の幅木を使用してください。幅木が薄い場合、エコカラットプラスが飛び出るような納まりになります。

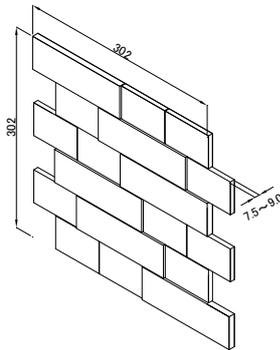


ランドの納まり例

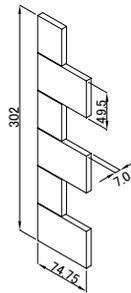
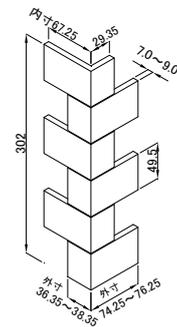
c. グラナス ヴィスト

(1) 形状

<グラナス ヴィスト>



異形状ボーダーネット張り

異形状ボーダー片面小端
仕上げ（短辺）ネット張り

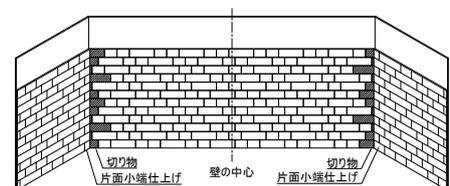
90° 曲ネット張り

(2) 割付け・納まり

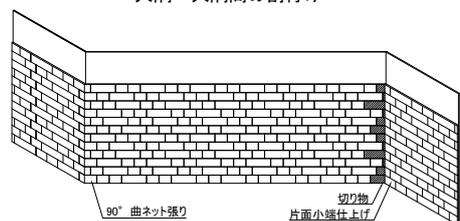
- 水平、垂直の基準線の墨出しを行ってください。
- ヴィストは、目地幅、縦横とも 1.0mm 程度あける仕様になっております。割り付ける際、1.0mm 程度目地をとって割り付けてください。
- 割り付ける際、できるだけ端部に小さな切り物が入らないようにします。さらに、できるだけ切断加工がないようにしていただくと作業性が向上します。
- 入隅部は 1 mm 程度の隙間を空け、空目地にするか、カラットコーク（2 mm 程度まで）またはシーリング処理（5 mm 程度まで）します。他部材との取り合いは 1 mm 程度の空目地とするかシーリング処理（5 mm 程度まで）します。

【入隅ー入隅間の割付け】

- 入隅ー入隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。
- 入隅には、異形状ボーダー片面小端仕上げ（短辺）ネット張りを使用してください。
- 切り物は、異形状ボーダー片面小端仕上げ（短辺）ネット張りの横の平物としてください。片面小端仕上げは勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



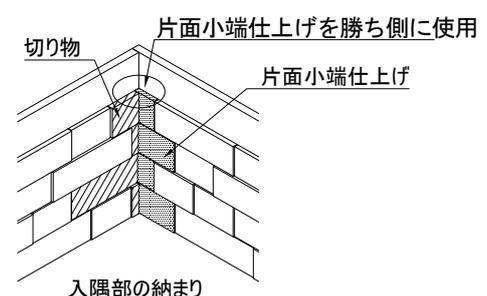
入隅ー入隅間の割付け



出隅ー入隅間の割付け

【出隅ー入隅間の割付け】

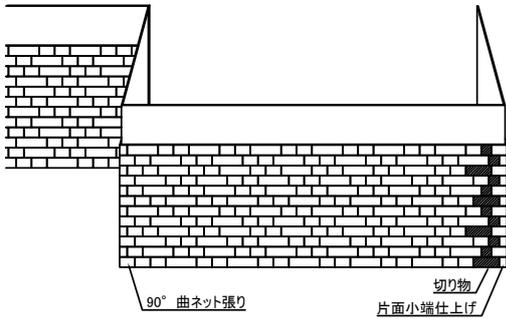
- 出隅ー入隅間の割付けは、90° 曲ネット張りを取り付け、出隅より片追いとしてください。
- 入隅には、異形状ボーダー片面小端仕上げ（短辺）ネット張りを使用してください。
- 切り物は、異形状ボーダー片面小端仕上げ（短辺）ネット張りの横の平物としてください。片面小端仕上げは勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



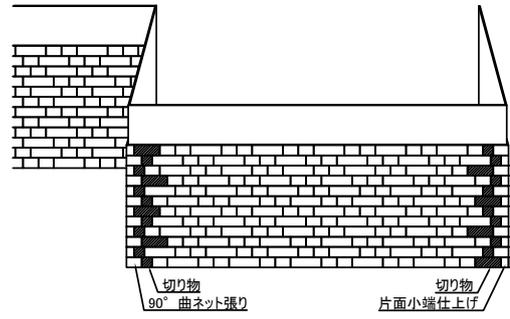
入隅部の納まり

【出隅－出隅間の割付け】

- 出隅－出隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。
- 芯割りまたは、片追いをして、出隅には 90° 曲がりネット張りを取り付け、出隅の横の平を切断して納めます。



出隅－出隅間の割付け（片割りの場合）

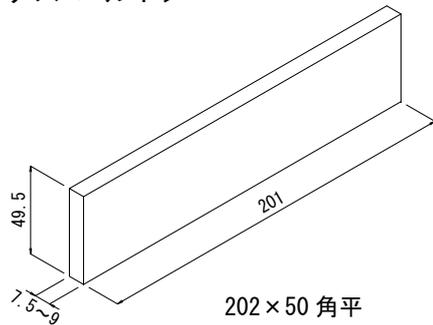


出隅－出隅間の割付け（芯割りの場合）

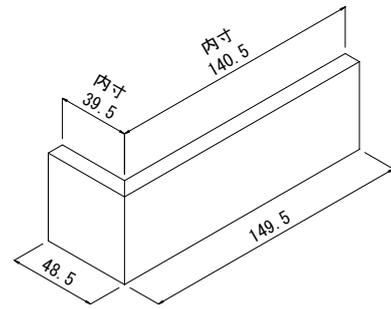
d. グラナス ハルト、ラフクォーツ

(1) 形状

<グラナス ハルト>



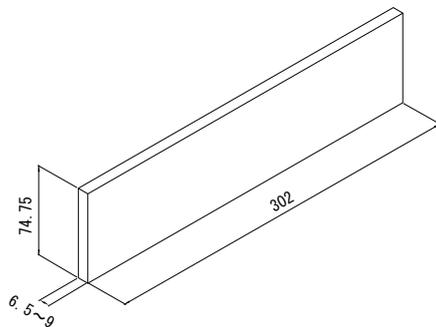
202×50 角平



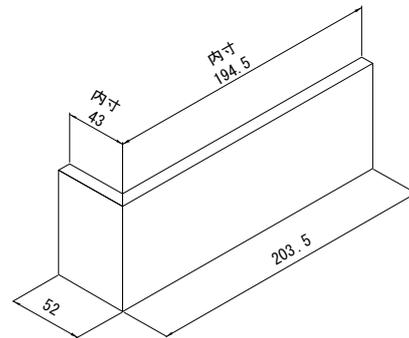
(151+50) × 50 角曲

※内寸は同一ですが、外寸の記載値は最大値です。

<ラフクォーツ>



303×75 角平



(201+50) × 75 曲

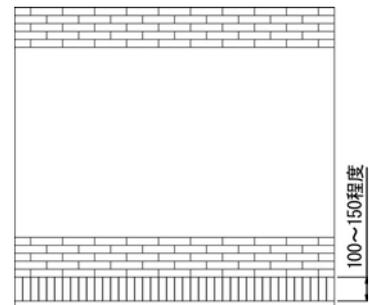
※内寸は同一ですが、外寸の記載値は最大値です。

(2) 割付け・納まり

- 1 mm程度目地をあけて施工してください。

■上下方向の割付け

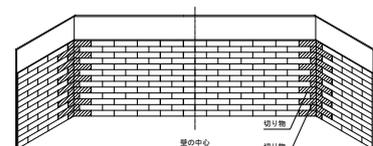
- 水平、垂直の基準線の墨出しを行ってください。
- 幅木・天井との取り合いや開口部上下は縦張りとするこゝで、高さ調整をしてください。
- 特に 30mm 以下の切り物が入る場合は、縦張りして納めるとききれいに仕上がります。
- 縦張りは 100~150 mmで割り付けるのを推奨します。



■水平方向の割付け

【入隅-入隅間の割付け】

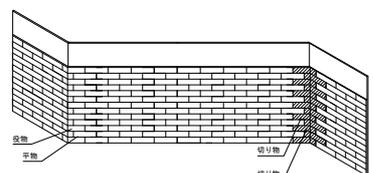
- 入隅-入隅間の割付けは、芯割りして両端に切り物を入れるとききれいに納まります。



入隅-入隅間の割付け

【出隅-入隅間の割付け】

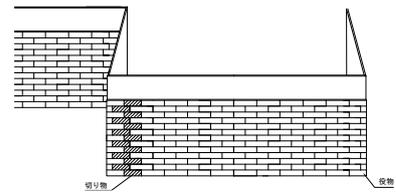
- 出隅-入隅間の割付けは、出隅からの片追いとし、入隅を切断して納めます。



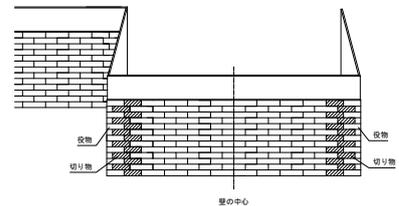
出隅-入隅間の割付け

【出隅－出隅間の割付け】

- 出隅－出隅間の割付けは、2/3 以下の切り物が入らないよう割り付けてください。
- 片追いで 2/3 以下の切り物が入る場合は芯割りしてください。



出隅－出隅間の割付け図（片割りの場合）



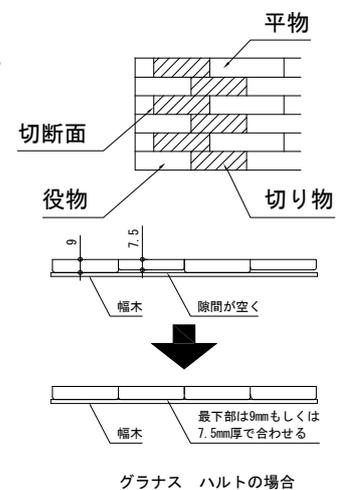
出隅－出隅間の割付け図（芯割りの場合）

【切断箇所】

- 切り物は出隅役物に隣接する平物を切断して納めてください。
- 切り物の切断面はサンディングし、役物側に向けて施工すると、切断面が分かりにくくなります。

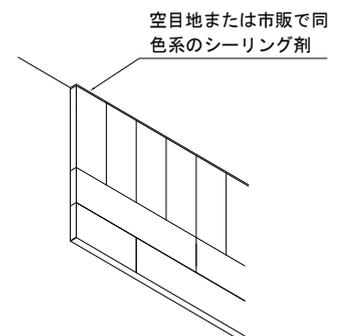
■ 幅木との取り合い

- 同一厚さのものを選別して使用すると隙間がなくなります。
- 市販の幅木に乗せて施工するとよりきれいに納まります。



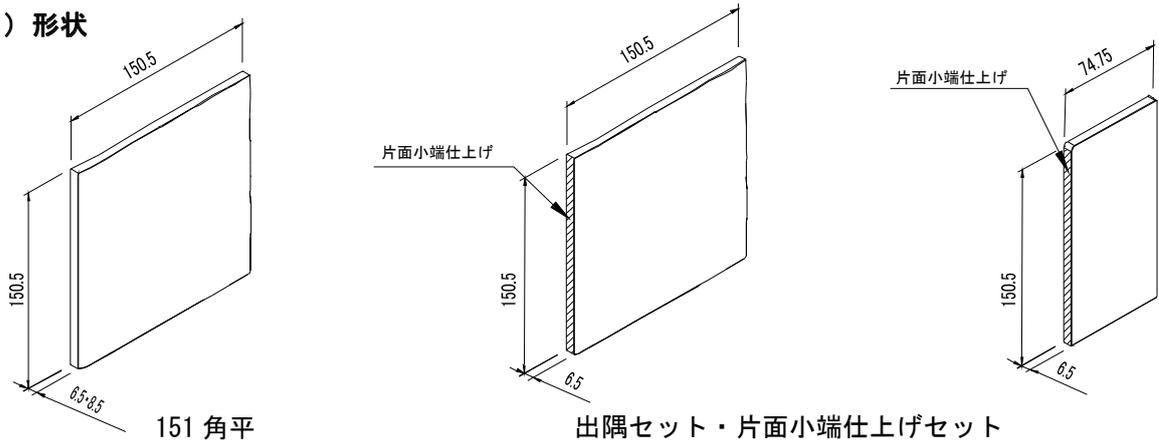
■ 天井との取り合い

- 1 mm程度の空目地で納めるか市販の見切り材で納めるときれいに納まります。隙間がある場合は、シーリング処理（5 mm程度まで）をします。



e. クロニカ

(1) 形状



151 角平

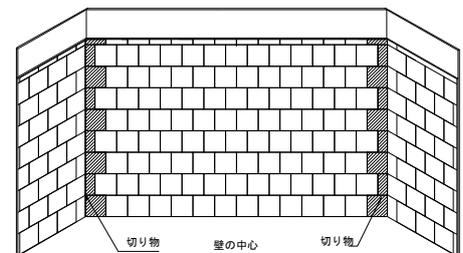
出隅セット・片面小端仕上げセット

(2) 割付け・納まり

- 水平、垂直の基準線の墨出しを行ってください。
- クロニカは、目地幅、縦横とも 1.0mm 程度あける仕様になっております。外周がラウンドしており、目地幅が数ミリ程度あきます。割付けは、目地共寸法の 151.5mm を基準に割り付けてください。
- 割り付ける際、できるだけ端部に小さな切り物が入らないようにします。さらに、できるだけ切断加工がないようにしていただくと作業性が向上します。
- 入隅部は 1mm 程度の隙間を空け、空目地にするか、カラットコーク (2mm 程度まで) またはシーリング処理 (5mm 程度まで) します。他部材との取り合いは 1mm 程度の空目地とするかシーリング処理 (5mm 程度まで) します。

【入隅－入隅間の割付け】

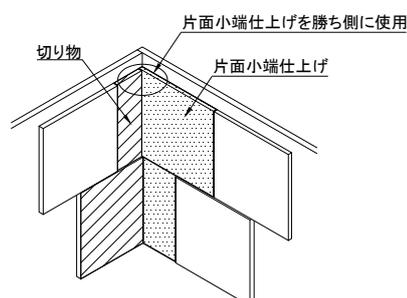
- 入隅－入隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。
- 入隅には、片面小端仕上げセットを使用してください。
- 片面小端仕上げセットは勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



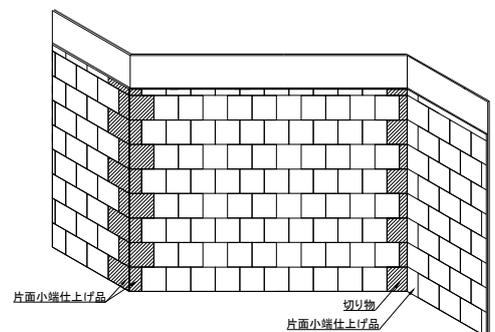
入隅－入隅間の割付け

【出隅－入隅間の割付け】

- 出隅－入隅間の割付けは、出隅セットを用い、出隅より片追いとしてください。
- 入隅には、片面小端仕上げセットを使用してください。
- 片面小端仕上げセットは勝ち負け納まりの勝ち側に使用してください。



入隅部の納まり



出隅－入隅間の割付け

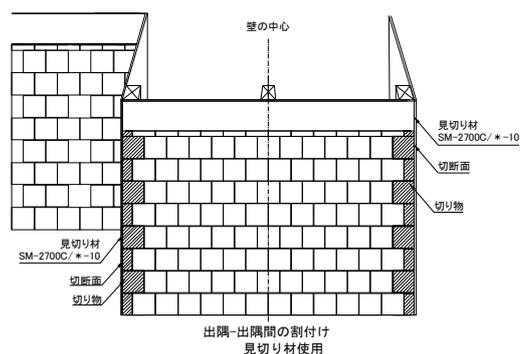
【出隅－出隅間の割付け】

● 出隅－出隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。

■ 見切り材を使用する場合

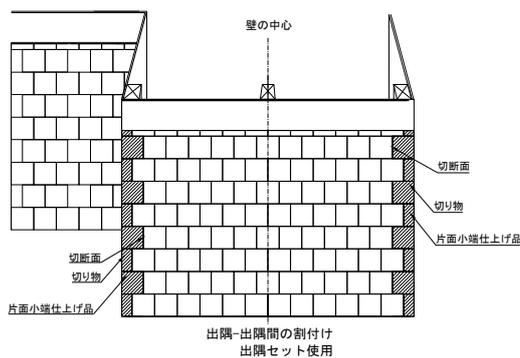
● 割付けは芯割りとし、出隅には装飾見切り材（壁用）（SM-2700C/*-10）を使用し、見切り材に接する面を切断して納めます。

見切り材の施工方法は、P.51 装飾見切り材の施工手順を参照してください。



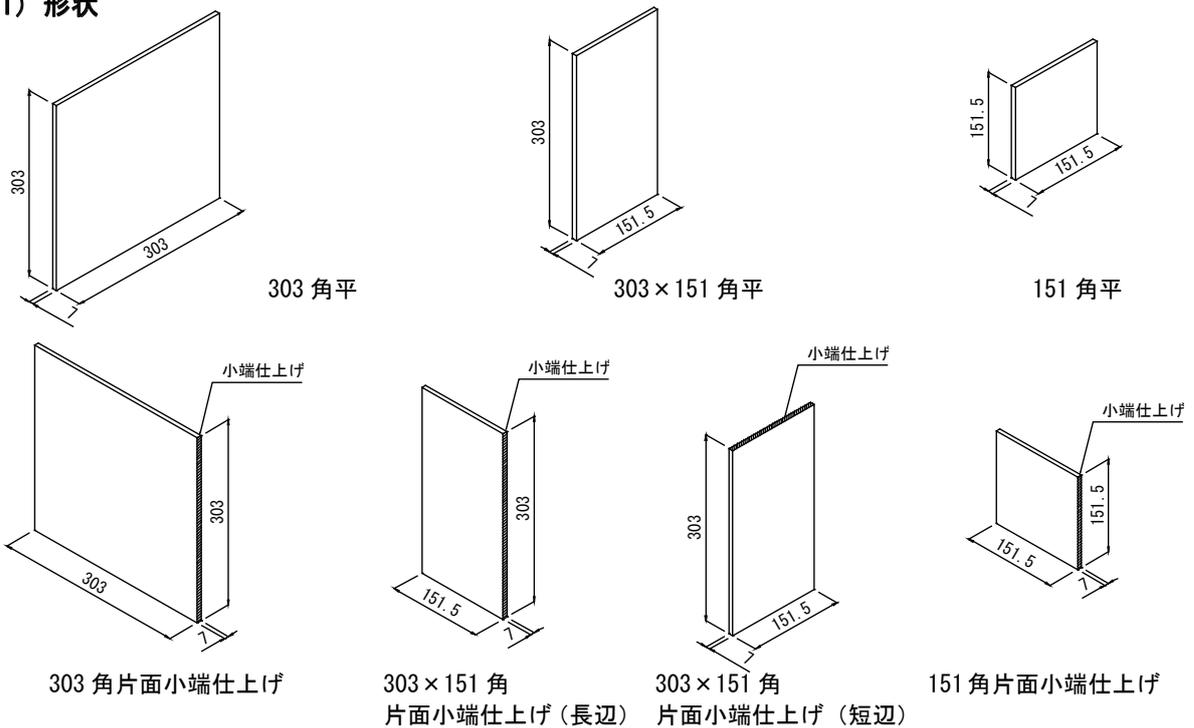
■ 出隅セットを使用する場合

● 割付けは芯割りとし、出隅には出隅セットを使用し、小端仕上げでない側を切断して納めます。

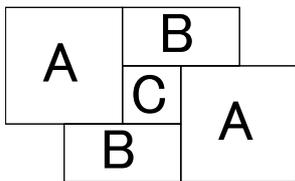


f. ストーンⅡ、レイヤーミックス

(1) 形状



異形状セット基本パターン



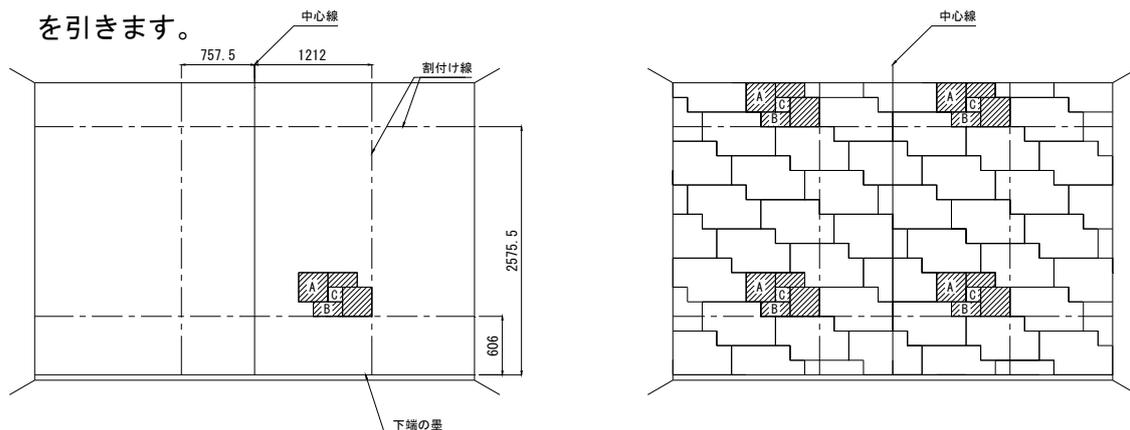
- A : 303角 2枚
- B : 315角 2枚
- C : 151角 1枚

(2) 割付け・納まり

- 施工する壁面の幅と高さを測定し、エコカラットプラスを割り付けます。
- 市販幅木の場合は『幅木の幅』で下墨を出し、市販の幅木上に乗せ、施工してください。
- 中心の墨を出し、その線を基準に各パターンの割付け線を出していきます。
- 割付け線の右下端部に合わせて異形状セットを割り付けてください。
- 両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。

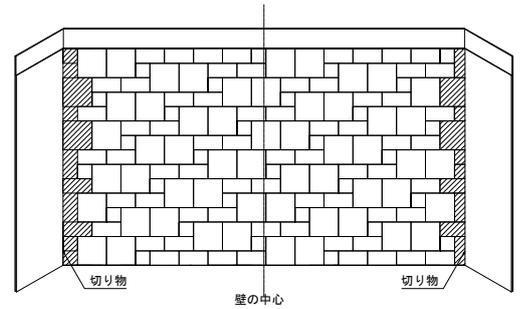
【割付け例】

- 中心線から左に 757.5 mm、右に 1212 mm、下端の墨から 606 mm、2575.5 mmの高さに割付け線を引きます。



【入隅－入隅間の割付け】

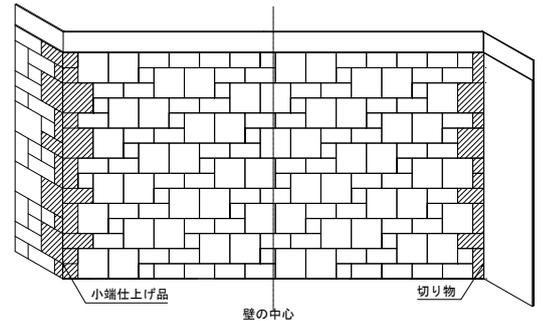
- 入隅－入隅間の割付けは、両端に小さな切り物が入らないように考慮してください。



【入隅－入隅間の割付け例】

【出隅－入隅間の割付け】

- 出隅－入隅間の割付けは、出隅には片面小端仕上げ品を取りつけ、入隅は切断して納めます。

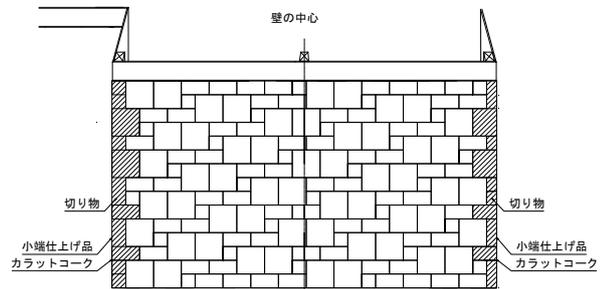


【出隅－入隅間の割付け例】

【出隅－出隅間の割付け】

■既存の下地に施工する場合

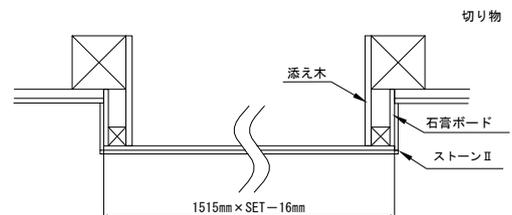
- 既存下地に割り付ける場合は、芯割りして、両端に切り物を入れます。出隅のもう一面に片面小端仕上げ品を使います。



【出隅－出隅間の割付け図】

■モジュールに合った仕上げをする場合

- モジュールに合わせて下地を作製し、割り付けてください。各パターンの左側を小端仕上げ品に変え、出隅に設置してください。



【下地の作製】

- 下地は（1515×水平方向に使用するセット数）mm－16mm（エコカラットプラス7mmと接着剤1mmの厚さ×2）で作成してください。

g. グラナス ラシャ、グラナス ヴァーグ、ヴァルスロック

(1) 納まり

<グラナス ラシャ、グラナス ヴァーグ>

グラナス ラシャ、グラナス ヴァーグは切断せずに納まるように割り付けてください。

【出隅・入隅の納め方】

出隅は 303×151 角調整用平と 303×151 角片面小端仕上げ(短辺※)を使用し、納めてください。

入隅は 303×151 角調整用平を使用し、納めてください。

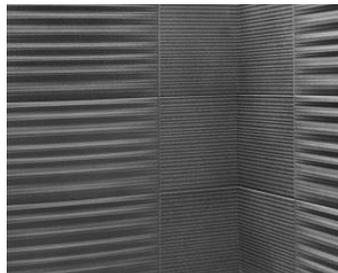
※ヴァーグの場合は長辺

グラナス ラシャ

■出隅納まり例



■入隅納まり例



グラナス ヴァーグ

■出隅納まり例



■入隅納まり例



<ヴァルスロック>

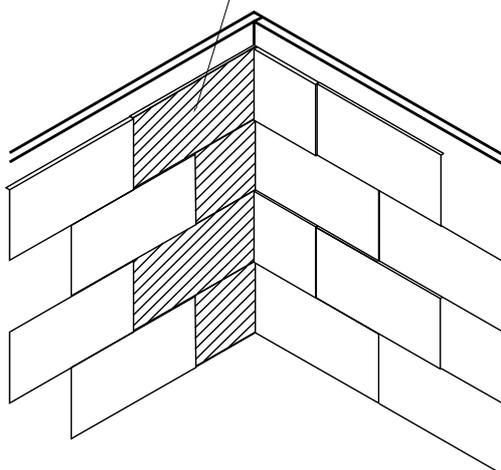
ヴァルスロックは1ケースに6.0mm厚16枚、8.5mm厚8枚入っています。

【入隅の納め方】

入隅納まり例の様に、のみ込み側は6.0mm厚を使用し、納めてください。

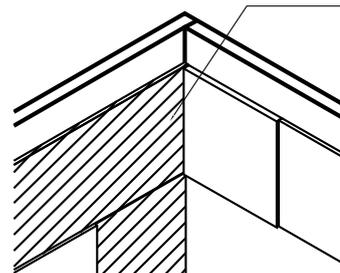
入隅納まり例

のみ込み側は6.0mm厚を使用



入隅部拡大

のみ込み側は6.0mm厚を使用

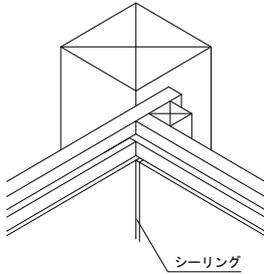


6. 納まり例

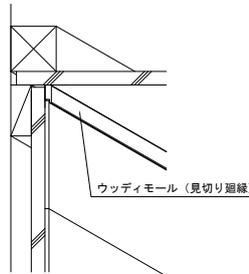
6-1 洋室

* 事前打合せにて、チリの確認を行ってください。

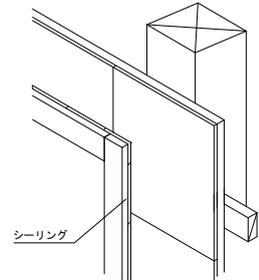
基本的に、取り合う部分は、1 mm程度の隙間をあけて空目地にするか、隙間が目立つ場合は、用途に応じて、カラットコーク（2 mm以内）かシーリング処理（5 mm以内）をしてください。



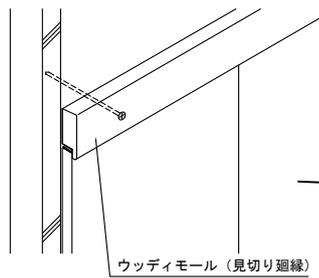
入隅に目地を設ける場合は、1 mm程度の空目地にするか、同色のカラットコーク（目地幅1~2mm程度）または市販の同系色のシーリング材（5 mm以内）を充填して納めてください。



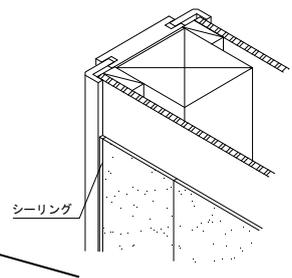
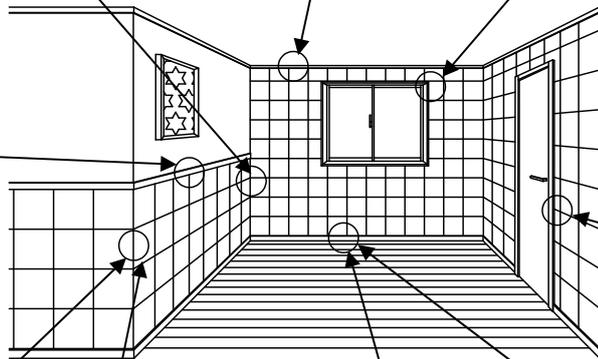
天井との取り合いは、ウッディモール（見切り廻縁）を使用し、エコカラットプラスを飲み込ませます。接着剤と釘の併用で留め付けてください。



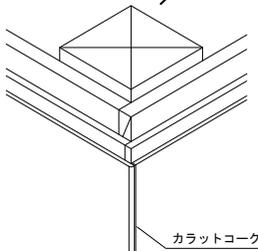
開口回りとの取り合いは、1 mm程度の空目地にするか、市販で同系色のシーリング材（5 mm以内）で納めてください。



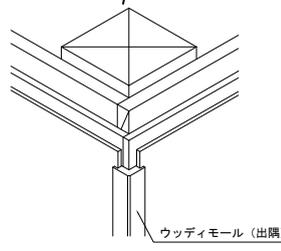
壁紙との取り合いは、ウッディモール（見切り廻縁）を使用し、エコカラットプラスを飲み込ませます。接着剤と釘の併用で留め付けてください。



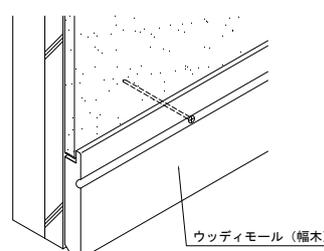
枠材との取り合いは、1 mm程度の空目地にするか、市販で同系色のシーリング材（5 mm以内）で納めてください。



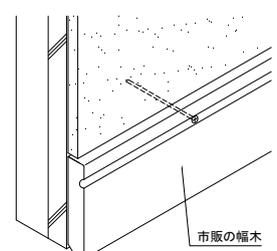
出隅を片面小端仕上げで納める場合、目地にはカラットコークを使用してください。目地幅は1~2mm程度となるようにエコカラットプラスを加工してください。



出隅材をウッディモール（出隅）で納める場合、切断面を飲み込ませるようにエコカラットプラスを加工してください。

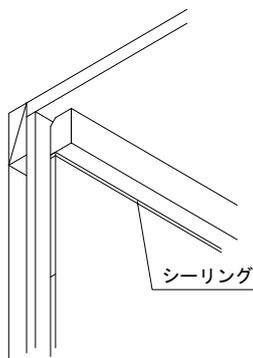


床との取り合いはウッディモール（幅木）を使用します。エコカラットプラスの切断面は飲み込ませます。接着剤と釘の併用で留め付けてください。

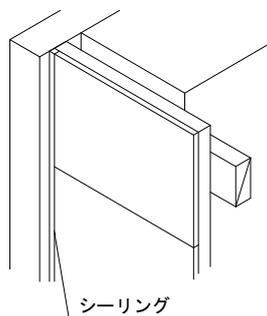


市販の幅木や改修で既存の幅木を使用する場合は、エコカラットプラスを幅木に乗せるように施工します。幅木がエコカラットプラスより薄い場合は、幅木の裏側に2~3mm程度の合板を増し打ちしてください。

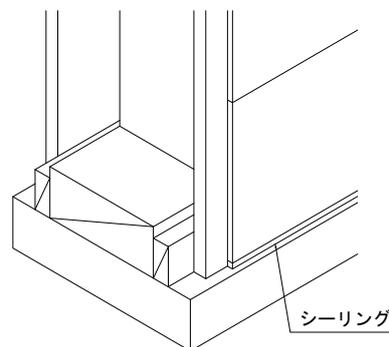
6-2 和室



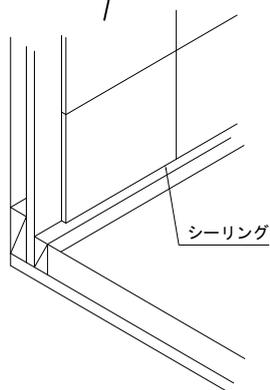
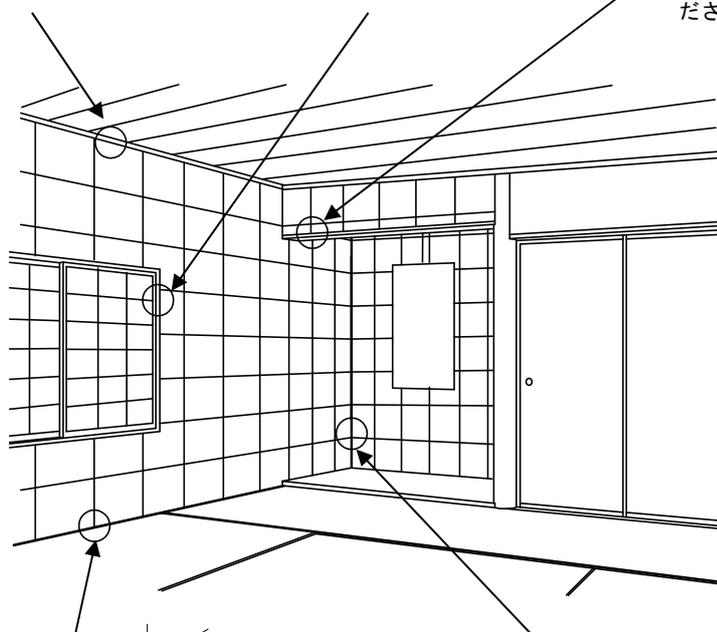
回縁との取り合いは、1 mm 程度の空目地または市販で同系色のシーリング（5 mm 以内）で納めてください。



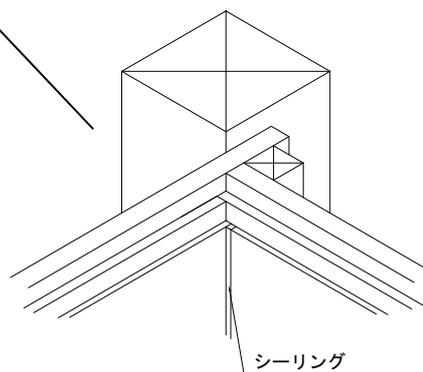
枠材との取り合いは、1 mm 程度の空目地または市販で同系色のシーリング（5 mm 以内）で納めてください。



落とし掛けとの取り合いは、1 mm 程度の空目地または市販で同系色のシーリング（5 mm 以内）で納めてください。



畳寄せからエコカラットプラスを張り上げる場合、畳寄せの水平レベルを十分確認してください。畳寄せの水平レベルが出ていないときは水平墨を基準にエコカラットプラスを張り、畳寄せとの隙間は 1 mm 程度の空目地、または市販で同系色のシーリングで納めてください。



入隅の目地は 1 mm 程度の空目地または、同色のカラットコーク（目地幅 1~2mm 程度）、市販で同系色のシーリング（5 mm 以内）で納めてください。

6-3 公共トイレ、住宅トイレ

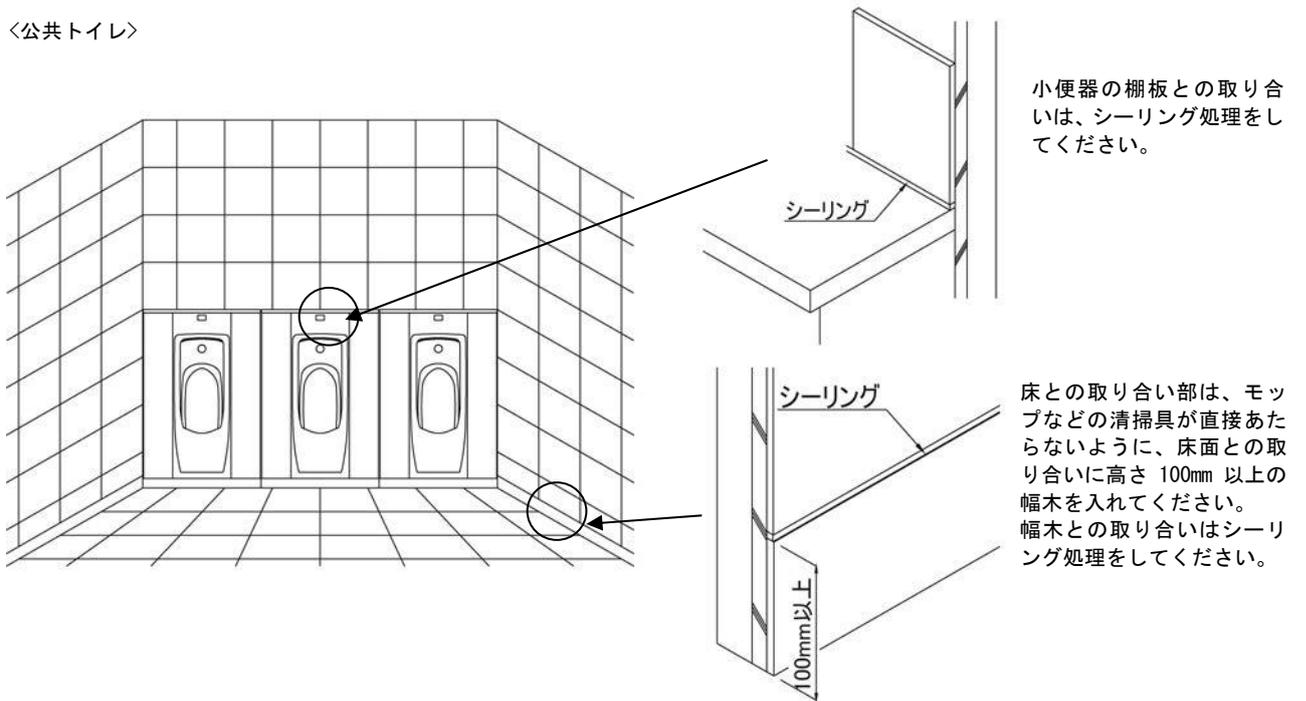
水がかりのある部位の取り合い部ではシーリング処理を行ってください。※

水がかりのある部位では、カラットコークは使えません。

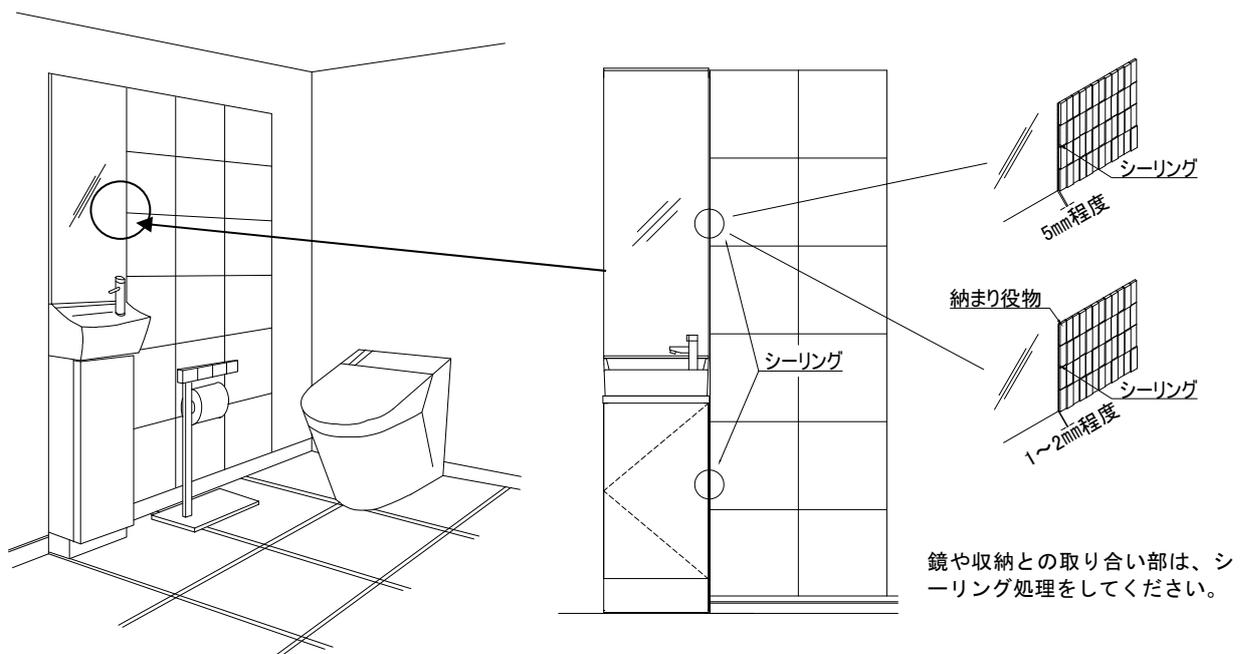
空目地、モルタル目地、カラットコーク等を用いると、エコカラットプラスが汚れたり変色する恐れがありますので、ご注意ください。

※ラフゾーンなどの段差の大きいエコカラットプラスは、納まり役物を用いるか、目地幅を5mm程度設けてシーリング材を充填してください。

〈公共トイレ〉



〈住宅トイレ〉



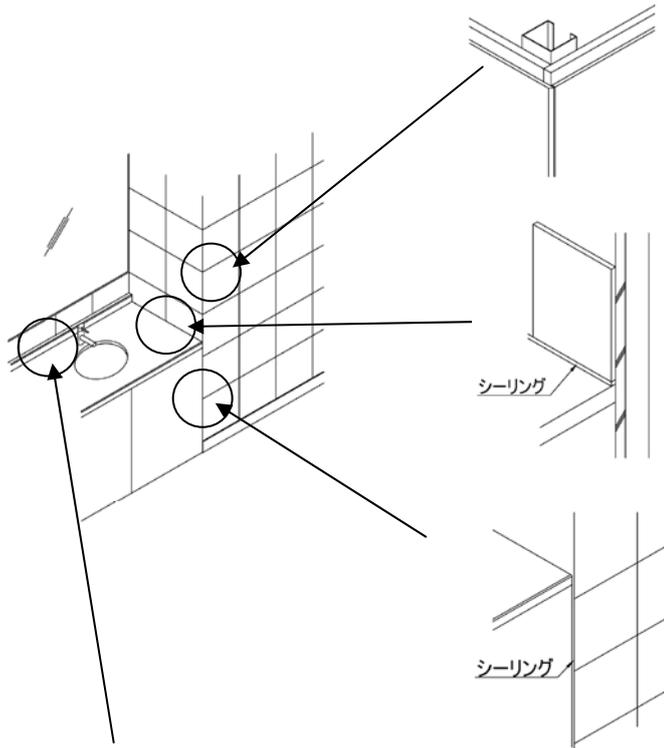
6-4 公共洗面、手洗いの背面

水がかりのある部位の取り合い部ではシーリング処理を行ってください。※

水がかりのある部位では、カラットコークは使えません。

空目地、モルタル目地、カラットコーク等を用いると、エコカラットプラスが汚れたり変色する恐れがありますので、ご注意ください。

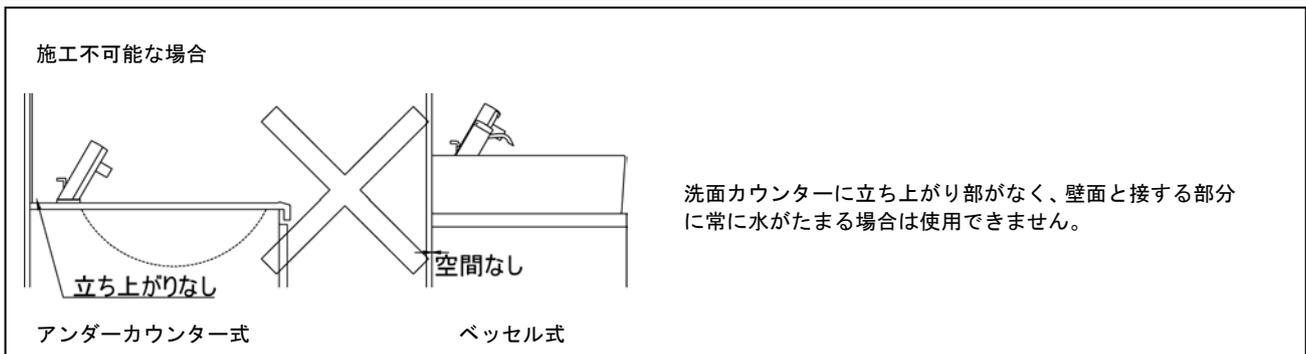
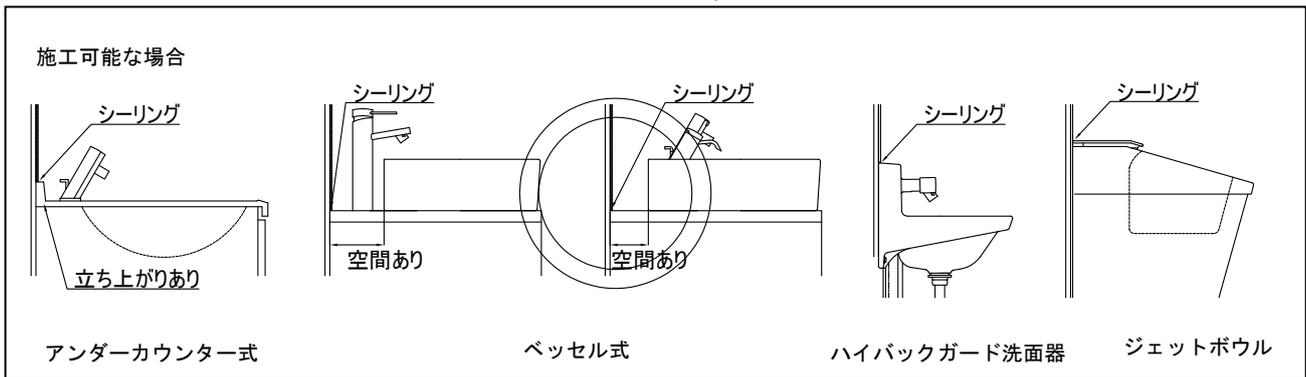
※ラフゾーンなどの段差の大きいエコカラットプラスは、納まり役物を用いるか、目地幅を5mm程度設けてシーリング材を充填してください。



出隅を片面小端施釉あるいは片面小端仕上げで納める場合、目地にはカラットコークを使用してください。目地幅は1~2mm程度となるようにエコカラットプラスを加工してください。

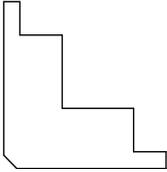
カウンター端部は、シーリング処理をしてください。

洗面化粧台等の他部材との取り合いはシーリング処理をしてください。



7. モールディングシステム

7-1 商品仕様

	商品 〈用途〉	品番	素材	形状	施工材料
1	ウッディ モール 〈幅木〉	ECK-HB/W...G	表面：オレフィンシート張り 基材：MDF	 2700 mm × 60 mm × t9 mm	①スーパーエコぬーるGまたは酢ビ系接着剤 ②カラー釘、またはかくし釘 ※①と②を併用
2	ウッディ モール 〈見切り廻縁〉	ECK-N/ W...G	表面：オレフィンシート張り 基材：MDF	 2700 mm × 25 mm × t9 mm	①スーパーエコぬーるGまたは酢ビ系接着剤 ②カラー釘、またはかくし釘 ※①と②を併用
3	ウッディ モール 〈出隅〉	ECK-D/ W...G	表面：オレフィンシート張り 基材：MDF	 2700 mm × 25 mm × 25 mm	①イナメント RC-S ②両面テープ ※①と②を併用

※MDF (Medium Density Fiber board) : 中比重ファイバーボード

7-2 適用個所

●水がかりのない内壁

※ウッディモールは、呑み込みタイプのため、厚さ 5.5mm のエコカラットプラスの場合に使用できます。

※直接水がかかる場所で使用しないでください。芯材は耐水性に劣るため、はがれる恐れがあります。

7-3 適用下地

●せっこうボード、合板、繊維強化セメント板など（エコカラットプラスの適用下地に準ずる）

【参考資料】

●カラー釘、かくし釘について

例1：せっこうボード 9.5 mmの場合、カラー釘（茶色）/25 mm以上、かくし釘/36 mm程度のものをご使用ください。

例2：せっこうボード 12.5 mmの場合、カラー釘（茶色）/30 mm以上、かくし釘/36 mm程度のものをご使用ください。

●補修材について（参考商品）

- ・タッチペン：住まいのマニキュア [建築の友社]
- ・補修用クレヨン：かくれん棒 [建築の友社]
（ブラウン系のもので見ばえをよくしてください。）

7-4 施工方法

①ウッディモール（幅木）の施工方法

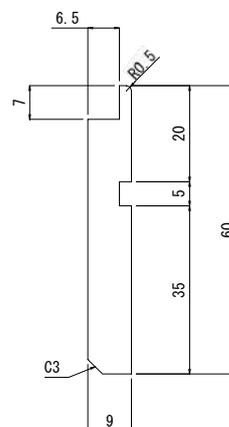
a. 概要

- ウッディモール（幅木）は床面との取り合いで使用し、エコカラットプラスの切断面を覆うことができる呑み込みタイプの幅木です。

※これ以降、ウッディモール（幅木）は幅木と記します。

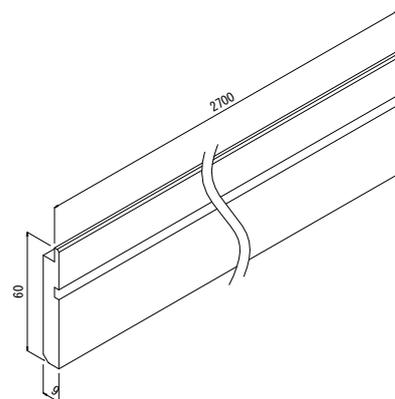
b. 準備

- 下地に不陸がないことを確認してください。不陸がある場合は事前に補修をしておいてください。
- コンクリート・モルタル下地等の場合、カラー釘、かくし釘および酢ビ系接着剤は使用できません。
- この幅木は呑み込みしろが 7 mm ありますのでその部分でエコカラットプラスの切断面が隠れるように取り付けてください。



c. 張付け

- 張付けは幅木裏面に接着剤を塗布して行います。この際、接着剤がはみ出さないように注意してください。張付け後、カラー釘またはかくし釘を胴縁間隔で留め付けます。
- 幅木をエコカラットプラス張付け後に張る場合は、呑み込みしろに最下段のエコカラットプラス切断面が隠れるように取り付けてください。
- 幅木を最初に張ってエコカラットプラスを積み上げて施工していく方法もあります。この際、必ず事前に墨出しを行い、幅木の水平、垂直を出しておいてください。
- 幅木の切断加工は丸のこ等の電動工具を使用すると切り口がきれいに仕上がります。
- 継ぎ目部分や出入隅部は突き付けとしてください。

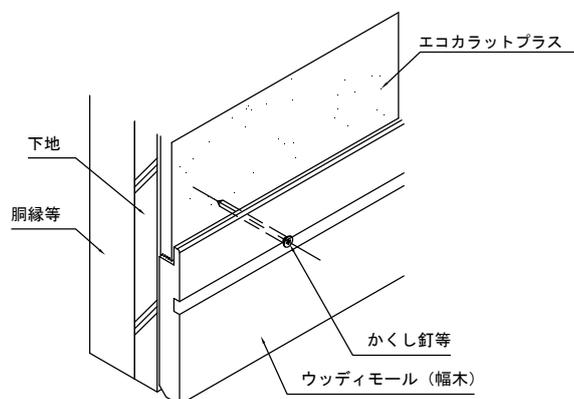


d. 補修

- 小さな傷や切断後の小端面は市販のタッチペン、補修用クレヨンで修正してください。
- 気になる傷がある場合は張り替えてください。

e. 参考

- 改修場面で既存の幅木をそのまま使用する場合、その取り合いは 2 mm 程度隙間をあけてください。必要であればコーキング処理を行ってください。



②ウッディモール（見切り廻縁）の施工方法

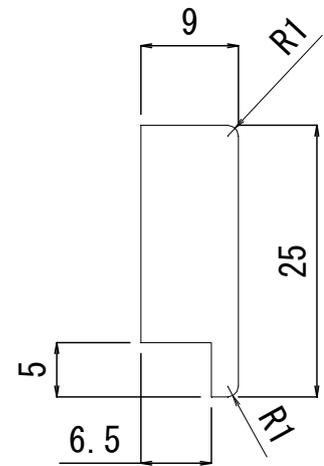
a. 概要

- ウッディモール（見切り廻縁）は他部材、主に壁紙との取り合いで使用し、エコカラットプラスの切断面を覆うことができる呑み込みタイプの見切り材です。

※これ以降、ウッディモール（見切り廻縁）は**見切り**と記します。

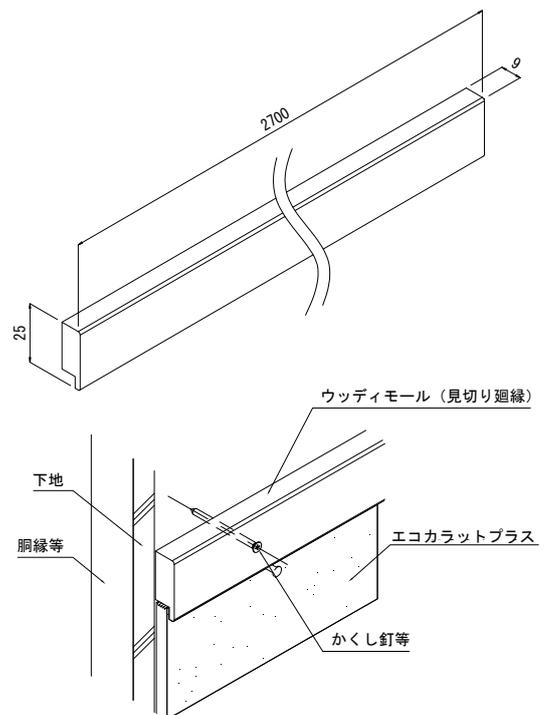
b. 準備

- 下地に不陸がないことを確認してください。不陸がある場合は事前に補修をしておいてください。
- コンクリート・モルタル下地等の場合、カラー釘、かくし釘および酢ビ系接着剤は使用できません。
- この**見切り**は呑み込みしろが5mmありますのでこの部分でエコカラットプラスの切断面が隠れるように取り付けてください。



c. 張付け

- 張付けは**見切り**の裏面に接着剤を塗布して行います。この際、接着剤がはみ出さないように注意してください。張付け後、カラー釘またはかくし釘を胴縁間隔で留め付けます。
- 見切り**をエコカラットプラス張付け後に張る場合は、呑み込みしろに最上段のエコカラットプラス切断面が隠れるように取り付けてください。縦使いで用いる場合は端部の切断面が隠れるようにしてください。
- 見切り**の切断加工は丸のこ等の電動工具を使用すると切り口がきれいに仕上がります。
- 継ぎ目部分や出入隅部は突き付けとしてください。



d. 補修

- 小さな傷や切断後の小端面は市販のタッチペン、補修用クレヨンで修正してください。
- 気になる傷がある場合は張り替えてください。

e. 参考

- 改修場面で既存の見切りをそのまま使用する場合、その取り合いは2mm程度隙間をあけてください。必要であればコーキング処理を行ってください。
- 本来の用途は**見切り材**ですが、廻縁として使用することも可能です。

③ウッディモール（出隅）の施工方法

a. 概要

- ウッディモール（出隅）はコーナー部分で使用する呑み込みタイプの出隅材です。

※これ以降、ウッディモール(出隅)は**出隅**と記します。

b. 準備

- 下地に不陸がないことを確認してください。不陸がある場合は事前に補修をしておいてください。
- コーナーの直角が出ていない場合にはきれいに納まらない場合があります。

c. 張付け

- 出隅はエコカラットプラス施工前に取り付けてください。
- 張付けは出隅の裏面に接着剤(RC-S)を塗布して行います。この際、接着剤がはみ出さないように注意してください。また仮留め用として強力両面テープで数ヶ所(4, 5ヶ所)を固定してください。
- RC-Sの塗布幅は3, 4mm程度で両側の中央部に塗ります。
- 出隅の呑み込み部分でエコカラットプラスの切断面が隠れるように納めてください。
- 出隅の切断加工は丸のこ等の電動工具を使用すると切り口がきれいに仕上がります。
- 継ぎ目部分は突き付けとしてください。

d. 補修

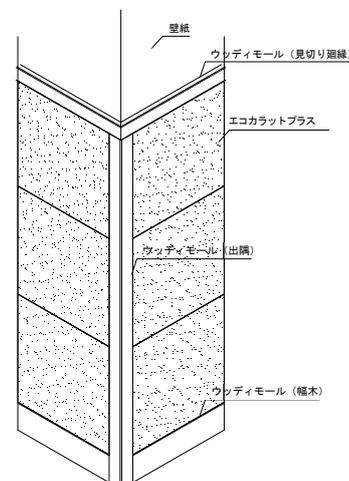
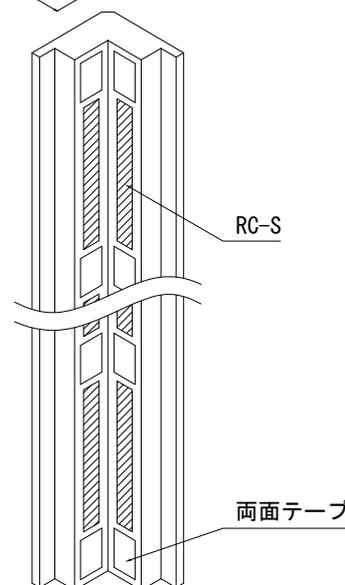
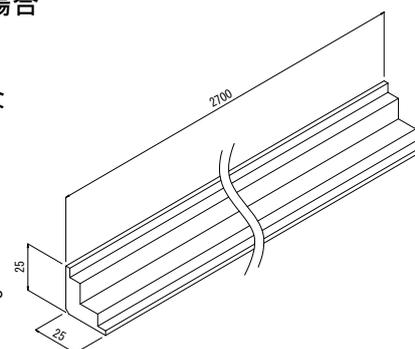
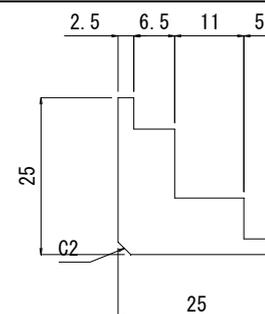
- 小さな傷は市販のタッチペン、補修用クレヨンで修正してください。
- 気になる傷がある場合は張り替えてください。

e. 参考

- 図のように見切りの下で突き付けとなるように納めてください。

[留意点]

- 接着剤はスーパーエコぬーるGも使用可能ですが作業性が劣ります。
- コーナー部分のため釘は使用できません。



8. コンセントスペーサー・装飾見切り材

8-1 商品仕様

商品<用途>	品番	素材	形状	施工材料
1 コンセント スペーサー	ECK-S1/W・MW ECK-S2/W・MW ECK-S3/W・MW	ABS樹脂	<p>(実寸法) 130×172 mm</p> <p>(実寸法) 130×128 mm</p> <p>(実寸法) 130×80 mm</p>	スーパーエコ ぬーる G
2 壁見切り C (入隅/ 出隅用)	SM-2700C/ S-10・W-10	アルミ		イナメント E-73、 スーパーエコ ぬーる G
3 壁見切り R (出隅/見切り 用)	SM-2700R/ S-6・W-6 SM-2700R/ S-8・W-8	アルミ	<p>A=(6 mm、8 mm)</p>	イナメント E-73、 スーパーエコ ぬーる G
4 壁見切り L (見切り用)	SM-2700L /S-6・W-6 SM-2700L /S-8・W-8 SM-2700L /S-10N・W-10N	アルミ	<p>A=(6 mm、8 mm、10.5 mm)</p>	イナメント E-73、 スーパーエコ ぬーる G

※コンセントスペーサーは1連、2連、3連コンセント、スイッチ用にお使いいただけます。

8-2 適用商品

●適用商品は、下記の通りです。

	コンセント スペーサー※1	壁見切り 6L 壁見切り 6R	壁見切り 8L 壁見切り 8R	壁見切り 10L 壁見切り 10C	壁見切り 10C (入隅の場合)
下記以外		○			
カッセ			○		
ストーンⅡ、 レイヤーミックス			○		
ニュートランス			○		
アンティークマープル、 ビンテージオーク			○		
ストーングレース、 ネオトラパーチン			○		
ペトラスクエア、 パールマスクⅡ、キルト	○			○	○
ラグジュアリーモザイクⅡ	○			○	○
ヴィーレ	○			○※2	○
ランド、ラフゾーン	○			○	○
ラフクォーツ、ハルト	○			○	○
ルドラ、ライン、 ヴィスト、 ブルックリンボーダーⅡ、 カームウッド	○			○	○
ラシャ、ヴァーグ	○			○	○
クロニカ	○			○	○
ヴァルスロック				○	○
ファブリコ	○※3		○		○

※1 コンセントスペーサーは8mm厚以上10mm厚以下のエコカラットプラスまで使用可能です。

※2 切り物のない場合は壁見切り 6L、壁見切り 6R をお使いください。

※3 606×303角（レリーフ）のみ使用可能です。

8-3 コンセントスペーサー施工手順

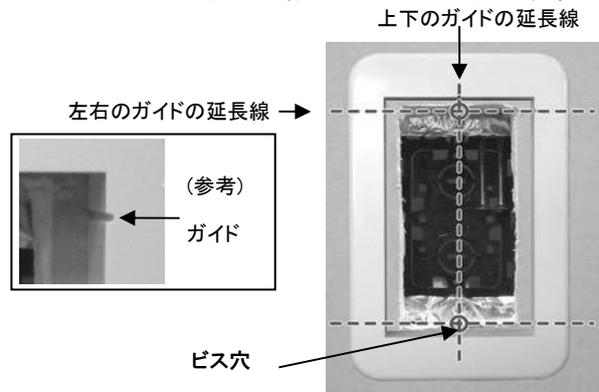
《以下、一連コンセント用で説明しています》

①位置確認

スイッチボックスの位置を基準に、コンセントスペーサー（以下略：スペーサー）の位置決めを行います。

施工上の注意

- ・スペーサー内側にガイドが6箇所（3連コンセント用の場合は、10箇所）あります。その延長線上交点が、スイッチボックスのビス穴の位置と重なるよう位置決めしてください。
- ・スイッチボックスが傾いている場合は、スペーサーをスイッチボックスの中央になるよう調整し、水平に配置します。



②基準線の墨出し

①で決めた位置にスペーサーを押し当て、スペーサーと壁下地の接触面に沿ってエコカラットプラス張り用の基準線を引きます。

施工上の注意

- ・罫書き線は実際の商品よりも1mm程度大きく引いておき、後でスペーサーが入らないことの無いよう注意してください。
- ・スイッチボックスのない場合（挟み金具等で取付ける場合は、配線上適切な位置を工事担当者と確認した上で、水平に罫書き線を引いてください。

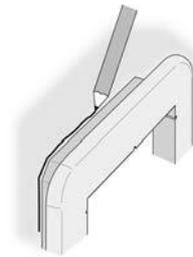


図. 基準線の引き方

③エコカラットプラス張り

基準線に合わせ、エコカラットプラスを張っていきます。

施工上の注意

- ・基準線まで丁寧に張ったほうがエコカラットプラスの小端面が見えにくく納まります。

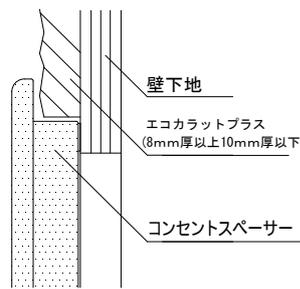


図. 取り付け部の納まり

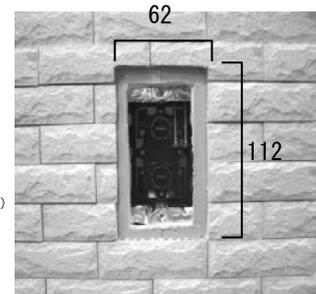


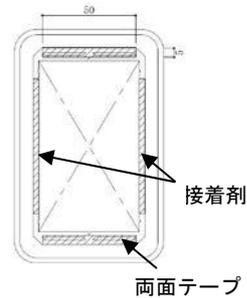
図. エコカラットプラス控え寸法
 (1連用・・112×62mm)
 (2連用・・112×110mm)
 (3連用・・112×154mm)

- （納まり役物）ネット張りの設定がある商品は、これを使って納めることができます。



④スペーサー取付け

エコラットプラス張り完了後、スペーサー裏面の両面テープを併用し、接着剤で張り付けます。接着剤はスーパーエコぬーるGを使用し、長辺側に塗布してください。



⑤完成

スペーサーの取付けは以上で完成です。

右写真、ランド〈石ハツリ面〉の納まり



【参考】コンセントの取付け(電気工事)



注意 配線工事を伴う場合は、電気工事士の免許が必要となります。

スペーサーを取り付けた上から、スイッチボックスとコンセントをビスで固定し、コンセントプレート被せませす。

施工上の注意

- ・ 施工状態により、スイッチボックス付属の取付けビスでは届かない場合は、別途市販の長尺ビスが必要です。
- ・ コンセントプレートがスペーサーの中央にあることをよくご確認ください。
- ・ 挟み金具を使用する場合は、C型金具をお使いください。



8-4 装飾見切り施工手順

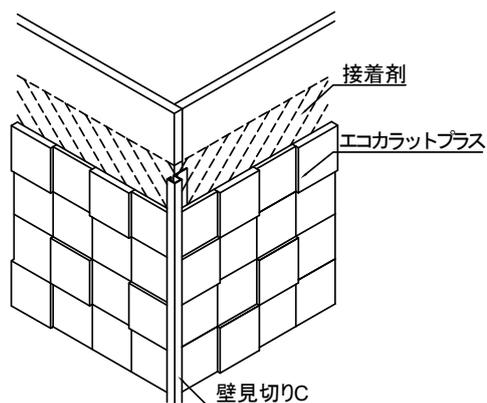
①エコカラットプラス施工と同時に、イナメント E-73 またはスーパーエコぬーる G にて施工してください。

接着剤で見切り材を張り付けた後に、再度見切り材の上に接着剤を塗り重ねてから、エコカラットプラスを張り付けてください。

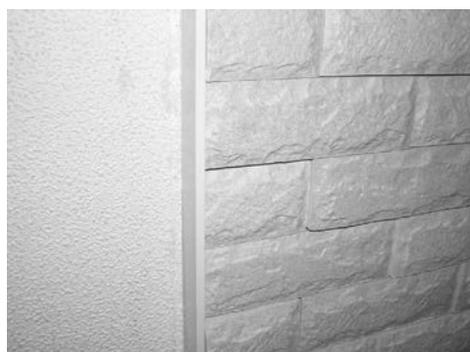
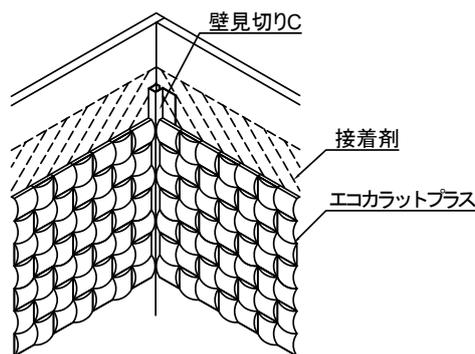
②取り合い部分は、1 mm程度の空目地とするか 5 mm以内のシーリング処理としてください。



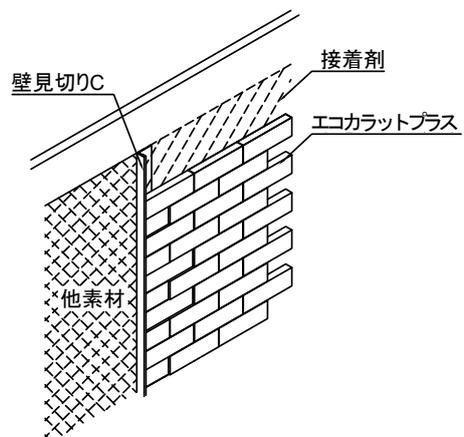
壁見切り C の納まり例 (SM-2700C/W-10 を出隅に使用)



壁見切り C の納まり例 (SM-2700C/W-10 を入隅に使用)



壁見切り L の納まり例 (SM-2700L/W-10N を張り終いに使用)



9. 天井への施工

9-1 適用範囲

①適用建物

新築の物件に適用できます。

②適用商品

303 角エコカラットプラス (6.5 mm厚以下) が適用できます。それ以外は適用できません。

③適用下地

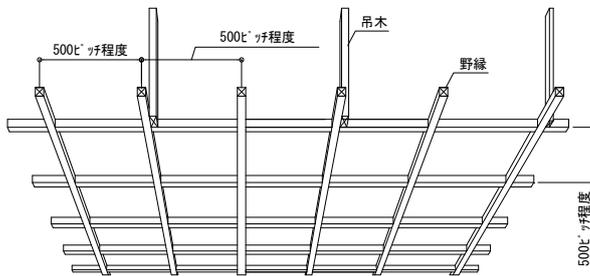
下地ボード	構造	ボード留付け間隔		野縁間隔	備考
せっこうボード (9.5 mm以上)	木造	周辺部	90mm	500mm ピッチ 程度	JASS11 *1 及び JASS26 *2 仕様に準拠
		中間部	120mm		
	鋼製	周辺部	150mm	303mm ピッチ 程度 *3	JASS26 *2 仕様に準拠
		中間部	200mm		

*1 : 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 11 木工事 / 日本建築学会

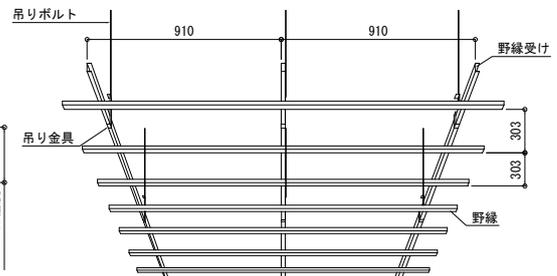
*2 : 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 26 内装工事 / 日本建築学会

*3 : 下地張りのある場合、360 ピッチ程度の間隔になります。

※せっこうボード以外の場合は、適用できません。



木製下地



鋼製下地

9-2 施工方法

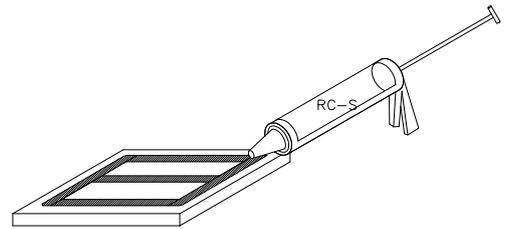
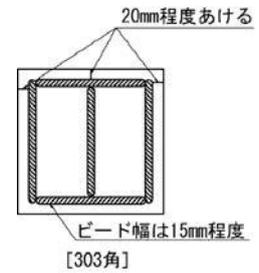
① 接着剤塗布

接着剤を塗布する前に天井の下地材にほこり、汚れ、水濡れの無いことを確認してください。

以下のように2種類の工法があります。

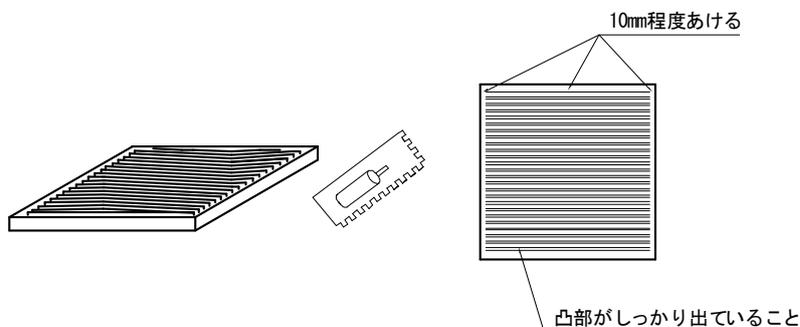
a. RC-S による部分接着剤張り

- 天井への施工はエコカラットプラス裏面に右図のように接着剤をビード状に塗布して、順次突き付けて張り付けます。
 - 接着剤はノズルの先端を切り取り（内径で 10 mm程度）、コーキングガンを用いてエコカラットプラスの裏面にビード状に塗り付けます。
- ※接着剤本体に内径 6~8 mm程度と記載してありますが、エコカラットプラスを天井に張り付ける場合には 10 mm程度としてください。
- 接着剤はノズルの先端を切り取り（内径で 10 mm程度）、コーキングガンを用いてエコカラットプラスの裏面にビード状に塗り付けます。
 - 端部からいずれも 20 mmぐらいあけるようにして塗布します。
 - 接着剤の塗布後は直ちにエコカラットプラスを張り付けてください。
- ※目安としてRC-Sは303角の「日の字」ビード塗布形状で㎡あたり約 1.7 本を必要としますが、塗布量により必要本数が増加する可能性がありますのでご注意ください。



b. スーパーエコぬーる G による全面接着剤張り

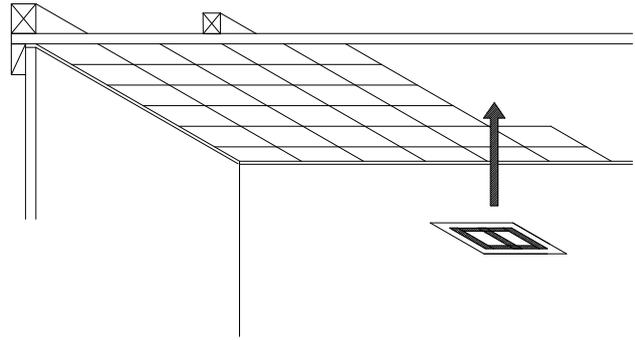
- 端部は 10 mm程度あけるようにして裏面全体に塗布します。
- くし目ゴテは 5 mmのものを使用して、しっかりと接着剤塗布後の凹凸ができているのを確認してください。塗布量が少ないと、凸部がかすれて接着状態が悪くなります。
- 接着剤の塗布後は直ちにエコカラットプラスを張り付けてください。



※目安としてスーパーエコぬーる Gは 5 mmのくし目施工で 2kg/㎡前後を必要とします。

②張付け

- エコカラットプラスは目地をあげず、突き付けて張り付けます。
- 接着剤を塗布したエコカラットプラスを天井に手でもみ込むように押えつけて張り付けます。
- 張代が 2 mm 以下になるまでしっかりと押えつければ、エコカラットプラスは落下しません。
- エコカラットプラスを張り付ける際、たたき板等でたたかないでください。損傷する可能性があります。
- 入隅部、他部材との取合いは 1~5 mm の隙間を開けてください。
- 張付け作業の早い時期にエコカラットプラスを 1、2 枚剥がして RC-S 接着剤による部分接着剤張りの場合は、ビート幅が 40mm 程度まで潰れて広がっていること、スーパーエコぬーる G 全面接着剤張りの場合はエコカラットプラス裏面の接着剤のくし目がしっかりとつぶれていることを確認してください。つぶれていない場合は、接着剤の厚さが不足しているか、エコカラットプラスのもみ込み不足ですので施工し直してください。



9-3 納まりり例

<p>(例1) 天井：エコカラットプラス 壁：エコカラットプラス</p>	<p>(例2) 天井：エコカラットプラス 壁：壁紙</p>
<p>(例3) 天井：エコカラットプラス 壁：壁紙（廻縁の使用）</p>	<p>(例4) 天井：エコカラットプラス 壁：壁紙</p>
<p>(例5) 天井：エコカラットプラス 壁：壁紙</p>	

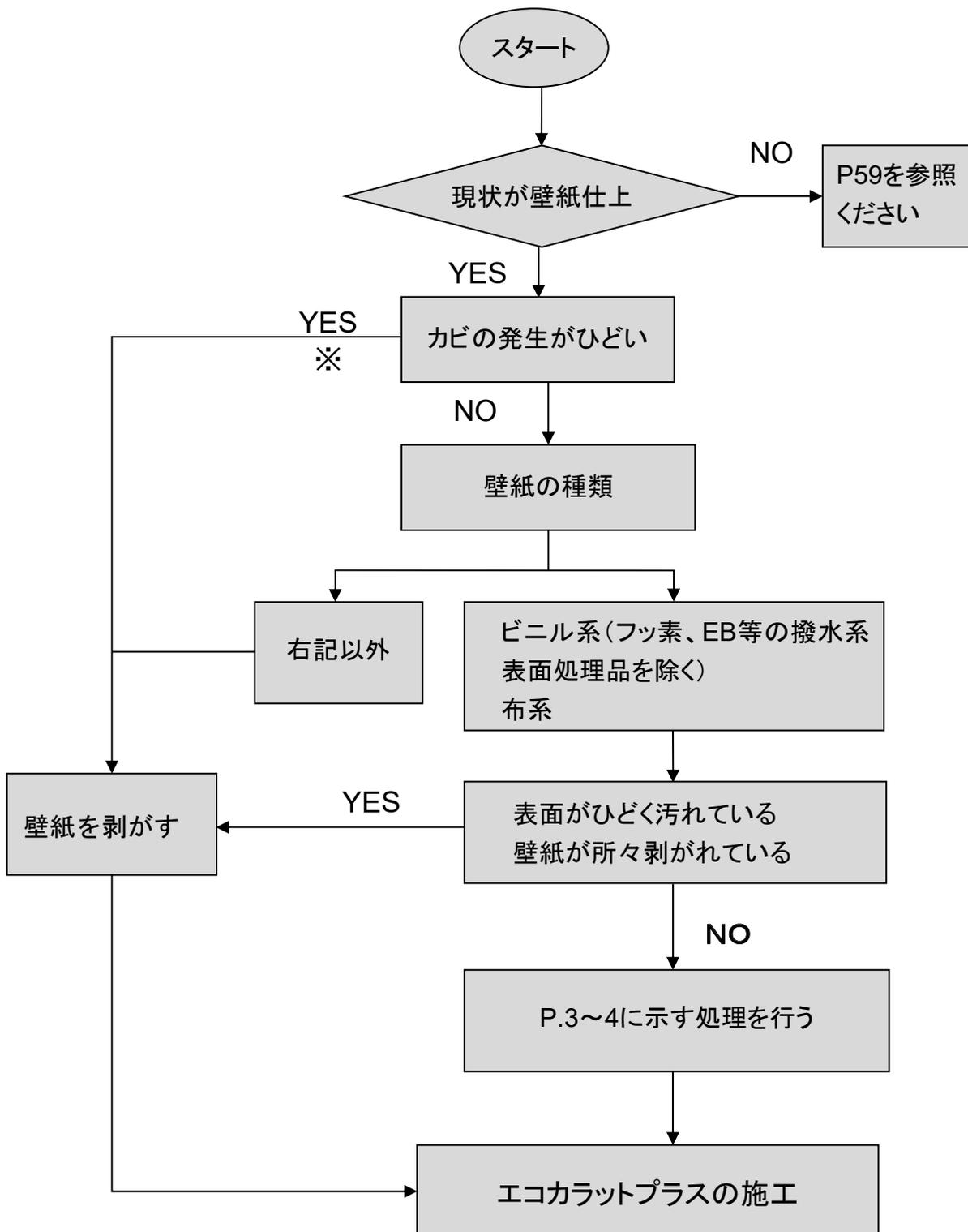
※メンテナンスが必要な業務用エアコン等の機器との取合いにはシーリング処理をしないでください。

10. リフォーム

壁紙仕上げからエコカラットプラスにリフォームする場合の施工法を示します。壁紙の上から張る方法と壁紙を剥がしてから張る方法があります。

ビニル系（フッ素、EB等の撥水系表面処理品を除く）、布系の壁紙は、その上からエコカラットプラスを施工することができます。フッ素、EB等の撥水系表面処理された壁紙、紙系（ケナフ紙を含む）、オレフィン系（非塩ビ系）の壁紙は、その上から施工できませんので、壁紙を剥がしてから施工してください。ビニル系壁紙の撥水の有無は、霧吹き等を使って水を吹きかけて調べることができます。水を弾けば撥水系表面処理が施されています。オレフィン系壁紙も水を弾きますので、上記の方法で見分けることができます。判別がつかない場合は壁紙を剥がしてから施工してください。

10-1 リフォームのフロー



※ ボードの交換も検討する必要があります。

10-2 適用範囲

■ 適用箇所（注：天井の場合は、下地から交換するようにしてください）

適用箇所は新築と同じ範囲となります。「1. 適用範囲」(P.1)にてご確認ください。

但し、天井は全商品施工できませんのでご注意ください。

■ 適用下地の判断

下地材	適用下地に認めるか否か？	＜条件＞ 特徴 など	
＜せっこうボード＞		＜厚さ 9.5 mm 以上＞	
せっこうボード (GB-R)	◎	最適・プラスターボードとも言う	
強化せっこうボード (GB-F)	◎	防火性が高い	
シーリングせっこうボード (GB-S)	◎	水回り下地は不可、多湿場面は可	
化粧せっこうボード (GB-D)	×	仕上げ処理不要、接着性不明	
せっこうラスボード (GB-L)	×	プラスター塗り壁用	
吸音孔あきせっこうボード	×	天井仕上げ用、孔あき	
化粧せっこう吸音ボード	×	天井仕上げ用、孔あき	
特殊せっこう吸音ボード	×	天井仕上げ用、孔あき	
＜合板＞		＜厚さ 9 mm 以上＞	
普通合板	○	I 類	JAS 基準 F☆☆☆☆
構造用合板	○	特類、I 類	JAS 基準 F☆☆☆☆
[留意点] ①ホルムアルデヒド放散量 <u>JAS 基準 F☆☆☆☆の合板</u> を使用してください。 ②ニオイを嗅いでみて <u>異臭がしないこと</u> を確認してください。 ③反り防止の為にビス留め間隔は 150 mm 以下として、胴縁間隔は 303 mm 程度としてください。 ④ <u>軽量鉄骨下地の場合、スタッド間隔は 303 mm 程度とし、下地の縦横のジョイント部にジョイントテープ (FATAPE-100) を張り付けてください。</u>			
＜繊維強化セメント板＞			
けい酸カルシウム板	○	比重 1.0、厚さ 6 mm 以上	
スレートボード (フレキシブル板)	×		
[留意点] <u>軽量鉄骨下地の場合、スタッド間隔は 303 mm 程度とし、下地の縦横のジョイント部にジョイントテープ (FATAPE-100) を張り付けてください。</u>			
木毛・木片 セメント板	×	水に対して敏感、反りが大きい	
ファイバーボード・パーティクルボード	×	水に対して敏感、反りが大きい	
＜セメント系＞			
コンクリート+モルタル下地 ブロック+モルタル下地	○	303 角、303×606 角、異形状セットについては、0.5～1mm 隙間をあけてください。	
押出成形セメント板	○	パネル内に割り付けてください。	
ALC パネル	○		

※既存壁紙処置の詳細については【10-4 施工方法】(P.60)の[1]下地の調査、[2]下地処理をご参照ください。

※GL(Gypsum Lining)工法はせっこうボードをGLボンドでコンクリート、モルタル下地等に張付ける方法です。

※独立柱に直接、またはボードを取り付けてエコカラットプラスを施工することは避けてください。動きにより出隅部にひび割れが入ることがあります。

※いずれも、面精度は±1.0mm/2m以内としてください。

※建築工事標準仕様書・同解説 JASS 26 内装工事/日本建築学会に準じた下地仕様としてください。

■ 前記以外の場合

既存仕上	通常仕様として張れるか否か?	対 処 法
塗材、吹き付け	×	ボードの捨て張り(二重壁構造)、塗材をはつる
漆喰、せっこうプラスター塗り	×	ボードの捨て張り(二重壁構造)
鉄板	×	ボードの捨て張り
タイル	△	イナメントボーイ RE で施工、平滑面
エコカラット・エコカラットプラス	△	スーパーエコぬーる G で施工、平滑面
石(大理石、テラゾなど)	×	ボードの捨て張り
れんが、コンクリートブロック	×	モルタル下地作成後、イナメントボーイ RE で施工

【留意点】

せっこうボードと合板のような異素材の下地をまたぐ場合は面合わせを行うと同時に板間に動き防止用のジョイントテープを貼り付けてください。この部分の施工では弾性接着剤(付メト RC-S)を使用し、くし目ゴテでのぼして施工してください。

10-3 工具

●壁紙を剥がさずに改修する場合、新築で使用する工具のほかに、タッカーが必要になります。

ハンマタッカー…壁紙を剥がさずに改修する場合に使用

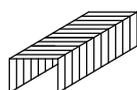
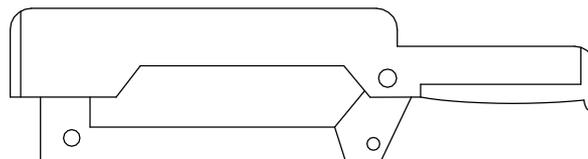
推奨品：(本体：TH-P/マックス製)

：(ステーブル：1008J-S, 1010J-S/マックス製(ステンレス製))

※同上のステーブル(400本入り)を用意しています。

8mm長：1008J-S (400)

10mm長：1010J-S (400)



10-4 施工方法

【下地の調査】

● 現行仕上げ状態のチェックとして、以下の項目を確認します。

- ① 壁紙素材がビニル系（フッ素、EB等の撥水系表面処理品を除く）、布系以外であるか？
（該当した場合または不明な場合は、壁紙を剥がしてから施工します。）
- ② カビが生えていないか？
（カビの発生がひどい場合は、下地を交換してください）
- ③ 壁紙表面の汚れがひどいか、所々剥がれていないか？その他、著しく損傷していないか？
（壁紙を剥がしてから施工します）
- ④ 裏打ち紙を剥がすか否かをチェックする場合・・・部分的に「井」形にカッターナイフ等で切込みを入れた後、粘着テープ等を貼付けて剥がしてみ取れてこなければ接着が良好と見なします。
- ⑤ （下地）不陸がないか？・・・特に不陸がひどい場合には下地を交換してください。
- ⑥ 適用部位、適用下地か？・・・適用部位・下地でない場合、改修は推奨できません。

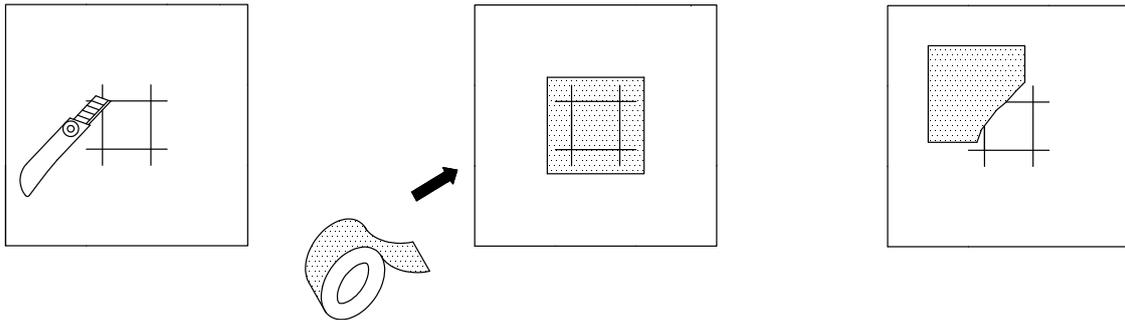
【下地処理】

■ 壁紙の上から張る場合

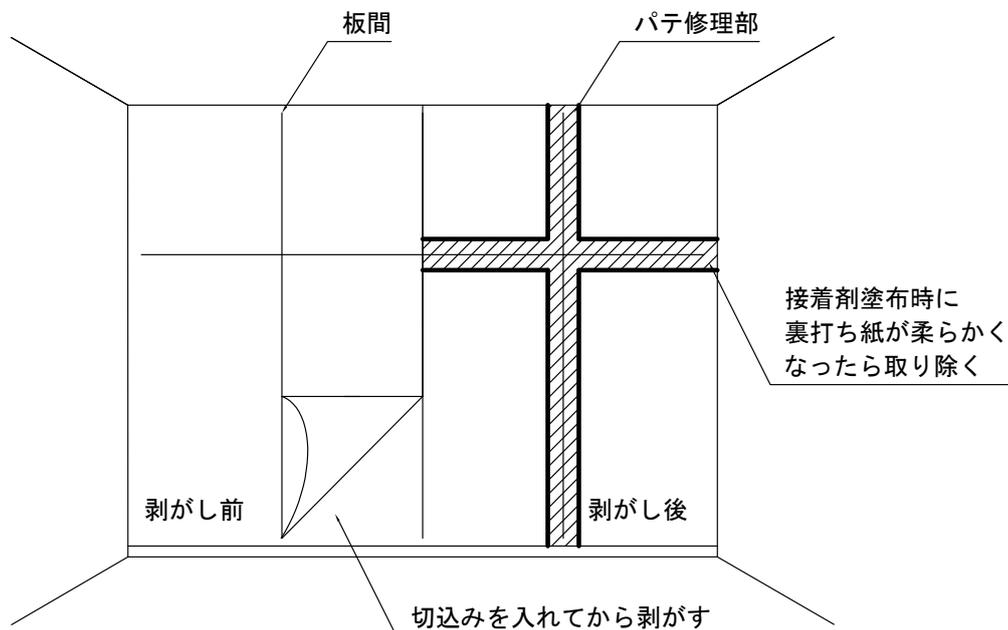
- ① せっこうボードの場合
P.3に示す処理を行ってください。
- ② コンクリート：モルタル下地の場合
P.4に示す処理を行ってください。

■壁紙を剥がしてから張る場合（壁紙の除去）

- 下地の調査の①～③に該当する場合、壁紙を剥がしてからエコカラットプラスを張ります。
- カッターナイフ等で切込みを入れた後、壁紙を剥がします。
- パテ処理部分に接着剤が付いた時、裏打ち紙が膨潤して柔らかくなるが多々あります。この場合、必ずその部分をケレン等で取り除いてください。
- 裏打ち紙については基本的に可能な限り剥がします。容易に剥がれない部分は次のチェックを行い、裏打ち紙がしっかり付いているところは剥がさないで裏打ち紙の上からエコカラットプラスを張り付けます。
- 裏打ち紙のチェック方法は以下のように行います。



※部分的に「井」形にカッターナイフ等で切込みを入れた後、粘着テープ（例：布粘着テープ/ニハパン製 粘着力相当品）を貼り付けて剥がしてみ取れてこなければ接着が良好と見なします。



※下地処理以降は新築と同様の方法で施工してください。（P10 5-3②
割付けから参照）

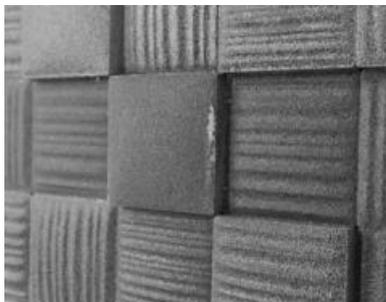
11. 補修

- 小さな傷については、エコカラットプラスの色番に対応したカラットコーク、タッチペンで補修できます。
- カラットコークを筆塗しやすい粘性まで水で薄めることで、タッチアップ材として使用できます。カラットコークの選定は、カタログに記載されている色番対応表をご参照ください。

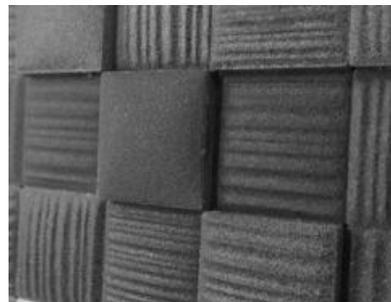
使用方法



- ①チューブから容器にカラットコークを約2cm分出す。
- ②水を小さじ一杯程度加える。
- ③筆などで混ぜる。
- ④破損箇所へ塗布する。薄い場合は重ね塗りする。



補修前



補修後

参考) 混合比 重量比

$$\underline{\underline{\text{カラットコーク} : \text{水} = 10 : 1}}$$

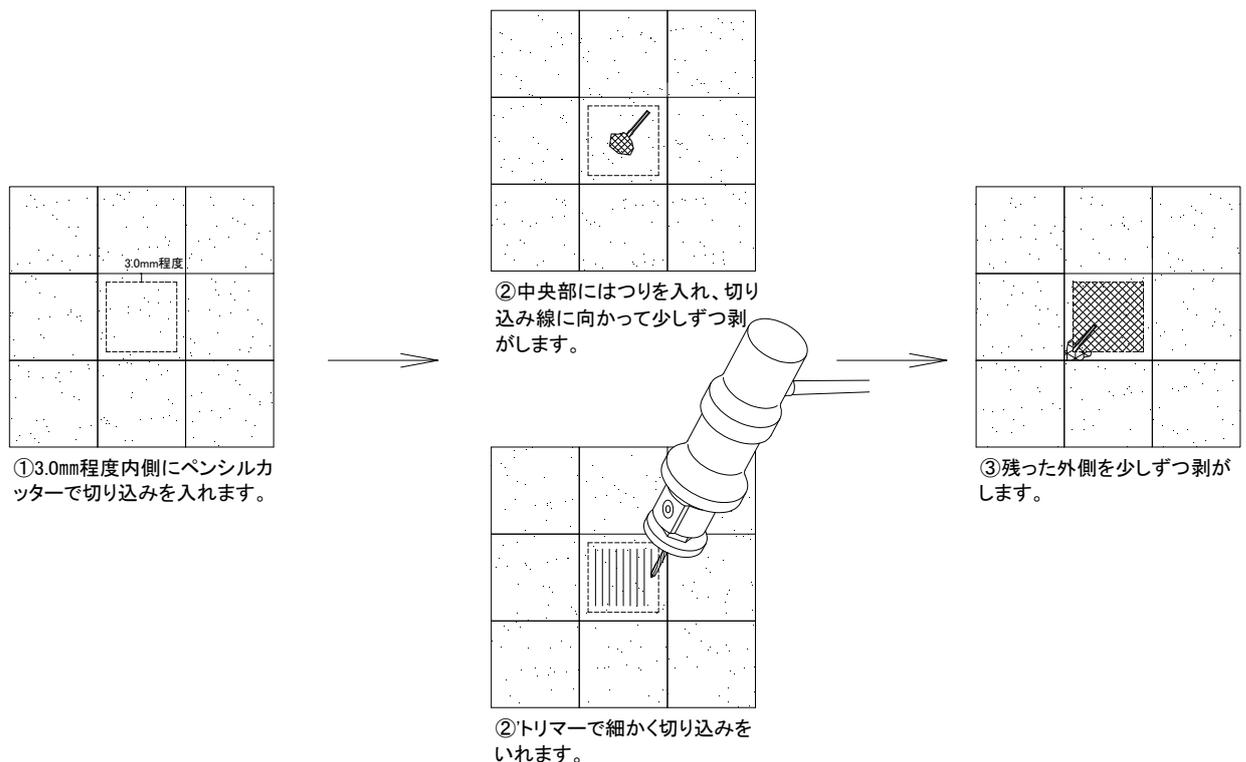
※比率は目安程度。

水量が増えても性能に影響なし。

- タッチペン（「住まいのマニキュア」/株式会社 建築の友）はエコカラットプラスに近い色のものをご使用ください。近似色がない場合もございます。

●やむを得ず、交換する場合には、下図を参考に、張替えを行ってください。

- ①剥がしたいエコカラットプラスに周辺から 3 mm程度内側の位置にカッターで切り込みを入れます。
- ②中央部から切り込み線に向かって少しずつはつり取ってください。
(全体に、切り込み線を入れると取れやすくなります・・図参照)
- ③次に、残った外周部を少しずつはつり取ってください。
- ④はつる際、隣のエコカラットプラス及び下地を傷つけないようゆっくりと剥がしてください。



※エコカラットプラスを割るときの初めの一撃は、タガネ、ハンマー等を用いて徐々に力を加えていくように加減しながら行ってください。

※タガネ等ではつり取る際、力を加えすぎると下地（特にせっこうボード）を損傷しやすくなるため慎重に行ってください。

※数枚程度の張替えは行えますが、広い面積を張り替える場合には下地ごと交換してください。特に下地がせっこうボードの場合は注意してください。

[補足] 乾式下地について

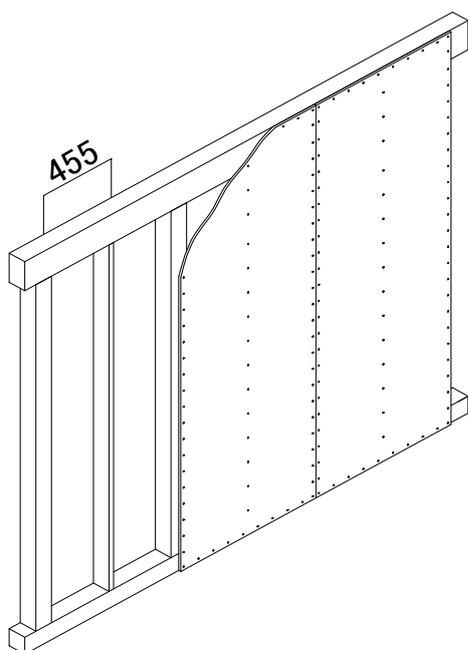
タイル張りにおける、標準的な下地の仕様を以下に示します。下記以外の事項については、日本建築学会の「JASS26 内装工事」、「JASS11 木工事」を参照してください。

①木造下地

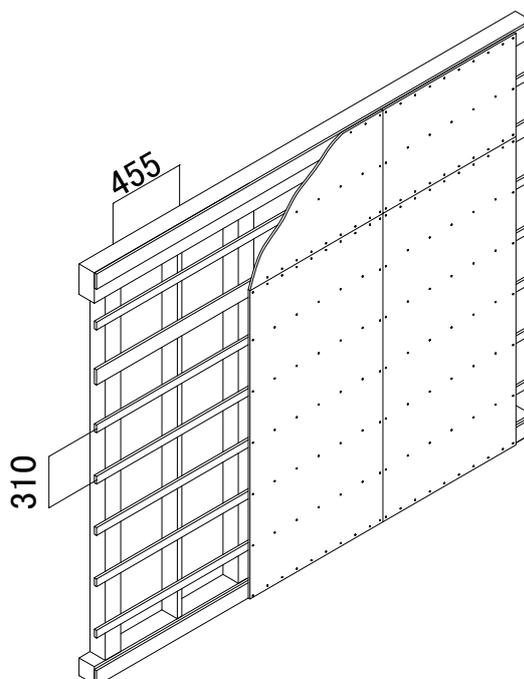
木製壁下地材の種類・寸法・取り付け間隔

	用途	部材の種類	寸法(mm)	間隔(mm)
一般壁	耐力壁	柱、間柱	105 × 105, 30 × 105	455
		胴縁	(15, 20, 24) × 90/2	310
	真壁	間柱	30 × (45, 60, 65)	455
		胴縁	(17.5, 25) × 100/2, 45 × 100	455
	コンクリート壁添え	木ずり、下地板	(12, 20) × 80	455
	枠組壁工法	たて枠	38 × 89, 38 × 140	650 以内
上枠、下枠		—		

(日本建築学会 せっこうボードドライウォール指針・施工指針・同解説より)



耐震壁の例



耐震壁に横胴縁を取り付けた例

②鋼製下地

鋼製壁下地材の種類

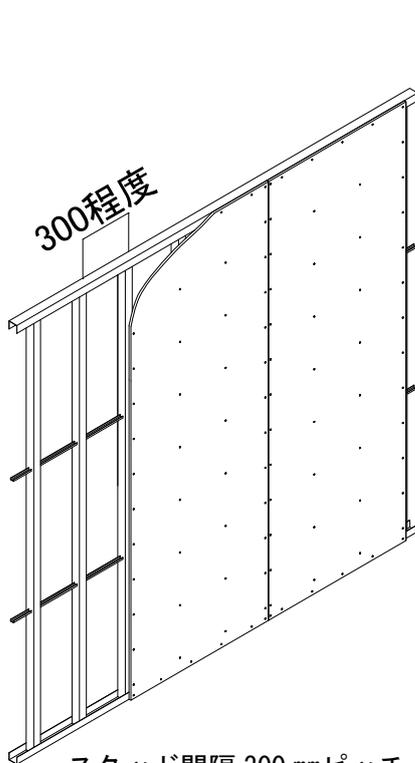
単位：mm

部材 種類	スタッド		ランナー		振止め		スタッドの 高さによる区分
	記号	寸法	記号	寸法	記号	寸法	
50形	WS-50	50×45×0.8	WR-50	52×40×0.8	WB-19	19×10×1.2	2.7m以下
65形	WS-65	65×45×0.8	WR-65	67×40×0.8	WB-25	25×10×1.2	4m以下
75形	WS-75	75×45×0.8	WR-75	77×40×0.8			
90形	WS-90	90×45×0.8	WR-90	92×40×0.8			4mを超え 4.5m以下
100形	WS-100	100×45×0.8	WR-100	102×40×0.8			4.5mを超え 5m以下

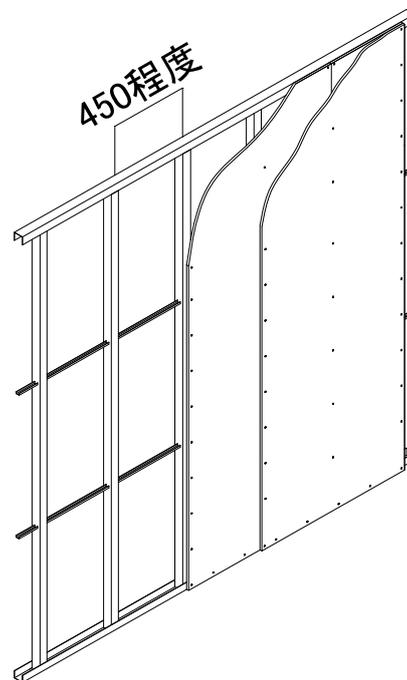
(日本建築学会 JASS26 より)

スタッドの間隔

- ・ボード1枚張りの場合・・・300mm程度
- ・ボード2枚張りの場合・・・450mm程度



スタッド間隔 300 mmピッチ、
ボード1枚張りの例



スタッド間隔 450 mmピッチ、
ボード2枚張りの例

③その他の下地

せっこうボードは、コンクリート、ALCパネル（間仕切り）などへの直張り工法（GL工法）があります。直張り工法については、せっこうボードメーカーの仕様に従ってください。

④推奨下地ボード

下地ボード	
せっこうボード	9.5 mm厚以上
けい酸カルシウム板	比重 1.0 6.0 mm厚以上
合板	I 類以上 9.5mm 厚以上

エコカラットプラスを「鉄骨+合板」下地に施工する場合は、合板の縦横ジョイント部にジョイントテープ（FATAPE-100）を張り付けてください。

工事名 _____ 邸 _____ 住所 _____ チェック完了日 _____
 年 _____ 月 _____ 日

エコカラットプラス工事チェックリスト

工事店様名	チェック者	印
建設会社様名	確認者名	印

チェック項目	チェック内容	判定	不具合点および改善内容	処理日	
工 事 前	材料確認	各材料は指定の品番か			
		各材料が必要数量納入されているか			
	足場の確認	適切な足場が設置されているか			
	施設の確認	水道・電気設備は整っているか			
	下地精度	面精度	±1.0 mm以内/2m以内		
		通り	一面:3 mm内		
		下地の継目段差	1 mm以内		
		天井レベル	2 mm以内		
		開口部の水平レベル	3 mm以内		
	下地状況	適用範囲通りとなっているか			
		下地は適用下地となっているか			
		下地の不陸はないか			
		基準墨は出ているか			
		コンクリート、モルタル下地の場合は、ひび割れが無い か			
		釘、ビス頭が下地表面から突き出していないか			
独立柱に、胴縁を介さず、ボードを取りつけていないか					
リフォームの場合は、所定の処理がされているか					
備考					
工 事 中	下地状況の確認	面精度は±1.0 mm/2m 以内か			
		異素材の下地を跨ぐ場合、面あわせを行なうと同時に板間に動き防止用のジョイントテープを貼り付けているか			
	エコカラットプラス張り工事	他部材の養生はされているか			
		使用する下地、エコカラットプラスに応じた適切な接着剤の選定、塗布方法、塗布量となっているか			
		スーパーエコぬーる G の塗り置き時間は所定の時間内か(目安 夏季 15 分、冬季 30 分)			
		接着剤の付着状況(満遍なく 60%以上)のチェックはされているか			
		エコカラットプラスの割り付けは仕様通りか			
	303 角以上、異形状セットのエコカラットプラスをコンクリート、モルタル下地に施工する場合は、0.5~1 mmの目地幅を確保しているか				
シーリング処理	入隅部、他部材との取合い部は、1 mm程度の空目地か、1~2 mmならカラットコーク、2~5 mmの場合はシーリングと適切な処理をしているか				
備考					
工 事 後	納まりの確認	全体的な仕上げに不具合はないか。特に接着剤のみ出しはないか			
	現場確認	残材処理・現場清掃はされているか			
	完了チェック	工事完了報告書は作成・提出されているか			
備考					



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についての技術的なお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL.0570-017-175 FAX.0570-017-178

※プラン・お見積り・サンプルのご用命は、支社・支店にご相談ください。

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
- 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

#0244 | 01 | 2019.1.10 発行